

江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

種別	科	目	種名	特徴など	観察者コメント	見頃サイン
1	カモ科	カモ目	オシドリ	(特徴など) 全長45cm程度。コガモより一回り大きいカモ類で、雄は美しく複雑な色彩でイチョウ羽が目立つ。雌は灰褐色で目の周りが白い。	【観察者コメント】 ・カルガモに混じり、鷗島の岩場で休んでいることがしばしばあった。渡りの途中と思われる。	見頃サイン 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
2	カモ科	カモ目	ヒドリガモ	(特徴など) 全長50cm程度。中型のカモ類で、嘴が短い。雄は頭頂が黄白色で頭部から胸が茶褐色。雌は全体に茶褐色である。	【観察者コメント】 ・愛宕の波消しテトラポットの周辺で越冬している。時々鷗島の西側の岩場で探餌していることがある。	見頃サイン 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
3	カモ科	カモ目	マガモ	(特徴など) 全長60cm程度。カルガモとほぼ同大のカモ類。雄は頭部が緑色で白い首輪があり嘴は黄色。雌は褐色で嘴の周囲が橙色。	【観察者コメント】 ・鷗島周辺では少なく、鷗島沖の上空を集団で移動する姿が見られる。愛宕の波消しテトラポット上でよく羽を休めている。	見頃サイン 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
4	カモ科	カモ目	カルガモ	(特徴など) 全長60cm程度。他のカモ類と異なり雌雄同色。体は褐色、顔は淡色で嘴は黒く先端が黄色。	【観察者コメント】 ・鷗島で唯一繁殖しているカモで、2月頃には、鷗島西側の岩場で海藻をついばむ姿がよく見られる。	見頃サイン 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

年	目	科	種名	特徴など	観察者コメント	見頃サイン
5	カモ目	カモ科	ハシビロガモ	(特徴など) 全長50cm程度。雌雄とも長く先の広がった嘴をもつ。雄は頭が緑色で胸が白色、腹は栗色。雌は全体に褐色。	【観察者コメント】 ・カモ類の渡りの時期に、単独でマガモの群れに交じり、愛宕の波消シテトラボッドで休んでいた。	見頃サイン 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
			オナガガモ	(特徴など) 全長75cm程度。雄の尾は非常に長く、雌も他の種と比較すると長い。雄の頭は黒褐色で胸からくびすじにかけて白色。雌は全体に褐色。	【観察者コメント】 ・単独で、開陽丸側の入り江いたり、愛宕の波消シテトラボッドで数羽で休んでいることがあったが数は少ない。	
			コガモ	(特徴など) 全長40cm程度。最も小さいカモ類。雄は頭部が栗色と緑色でお尻に黄色の三角形斑がある。雌は全体に褐色。	【観察者コメント】 ・開陽丸側の入り江で、数羽が群れて休んでいた。ハヤブサが上空で舞うと早々に飛び去っていった。	
			ホシハジロ	(特徴など) 全長45cm程度。雄は頭部が赤褐色、胸は黒色で体は灰色。雌は全体に褐色で目の周辺が淡色となる。	【観察者コメント】 ・愛宕の波消シテトラボッドで、まれに姿が見られた。一度だけ鷗島の西側の岩場で採餌していることがある。	


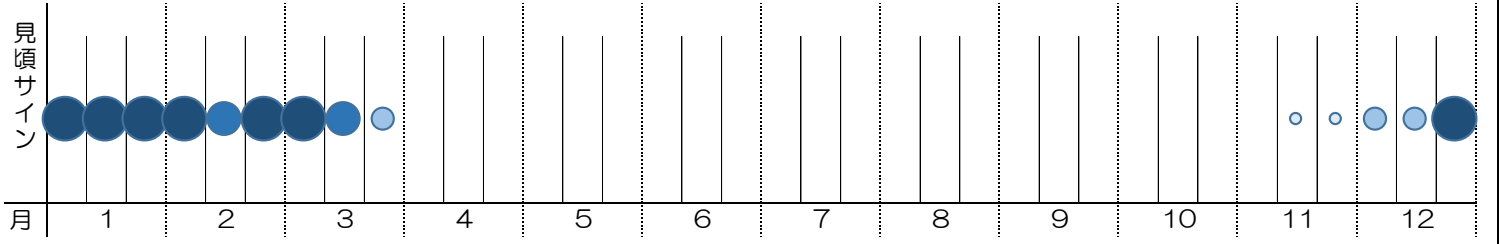

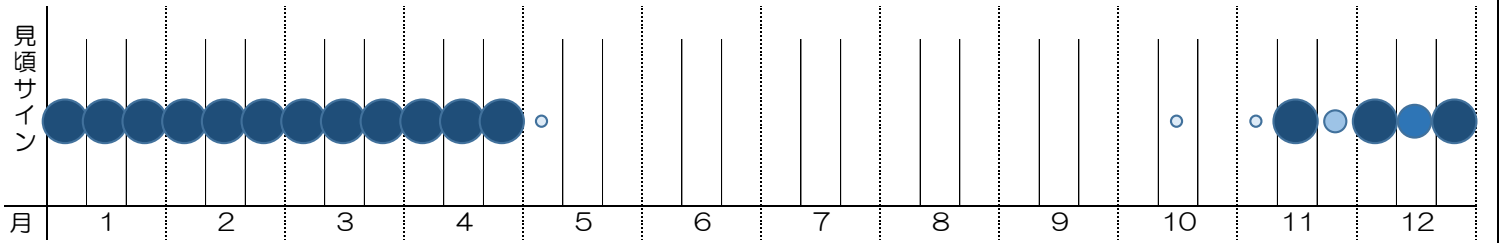

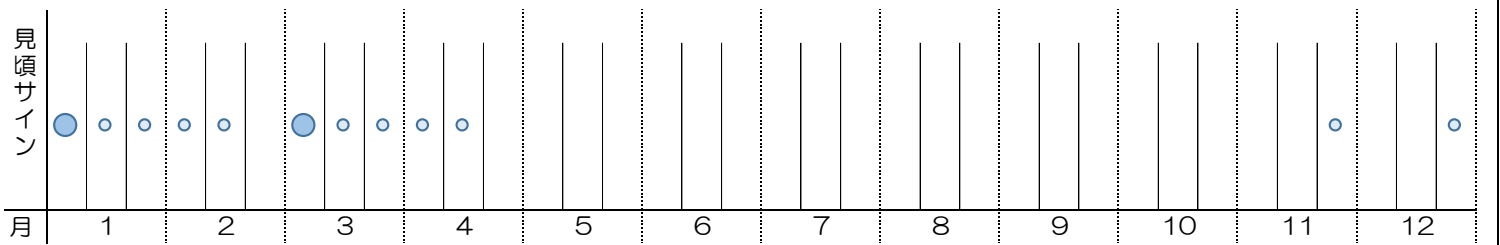

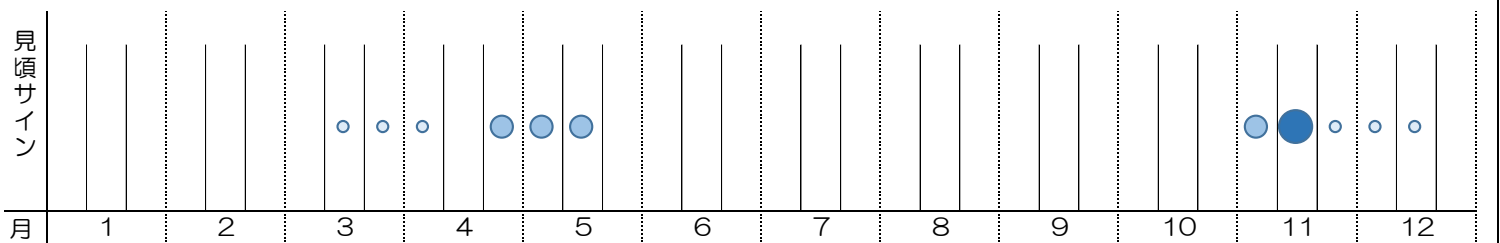
江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

年	目	科	種名	特徴	観察コメント	出現率
9	カモ目	カモ科	スズガモ	(特徴など) 全長45cm程度。雄は頭部から胸が黒く、背は灰色、腹は白色。雌は全体が褐色で嘴の根元が幅広く白色。	【観察者コメント】 ・メス1羽だけが港湾内でクロガモと一緒に採餌していた。上ノ国の天の川河口ではよく見られる。	10月、11月
10	カモ目	カモ科	シノリガモ	(特徴など) 全長45cm程度。小型の海カモ。雄は紫黒色に白色の複雑な模様があり、腹は赤褐色。雌は黒褐色で顔に3つの白斑がある。	【観察者コメント】 ・冬の海の荒れた日でも、鷗島の海上等で潜水していた。オスのけんかでは、おもちゃのアヒルの様なブーという鳴き声で威嚇する。	1月~5月、10月~12月
11	カモ目	カモ科	ビロードキンクロ	(特徴など) 全長55cm程度。雄は全体に黒色で目の下に白斑、嘴は橙赤色で基部に黒いこぶがある。雌は褐色で顔に2つ白斑がある。	【観察者コメント】 ・26年の冬にオス1羽だけが越冬していた。けがをしていたのかもしれない。27年の冬には見られなかった。	1月、2月、11月、12月
12	カモ目	カモ科	クロガモ	(特徴など) 全長50cm程度。雄は全体に黒色で嘴の基部に黄色のこぶがある。雌は全体に褐色で顔からのどにかけては淡色。	【観察者コメント】 ・ほぼ、毎年、港湾内で越冬している。オスは黄色の嘴と真っ黒な体でメスよりも一回り大きく、黒いアヒルのような姿である。	1月~3月、11月~12月


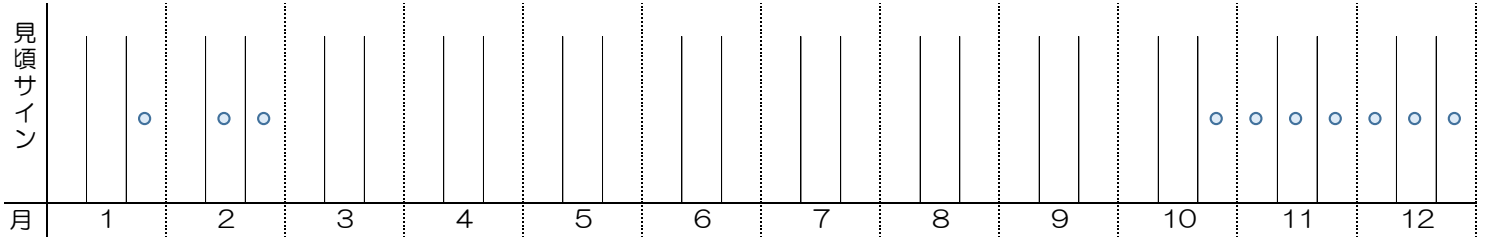

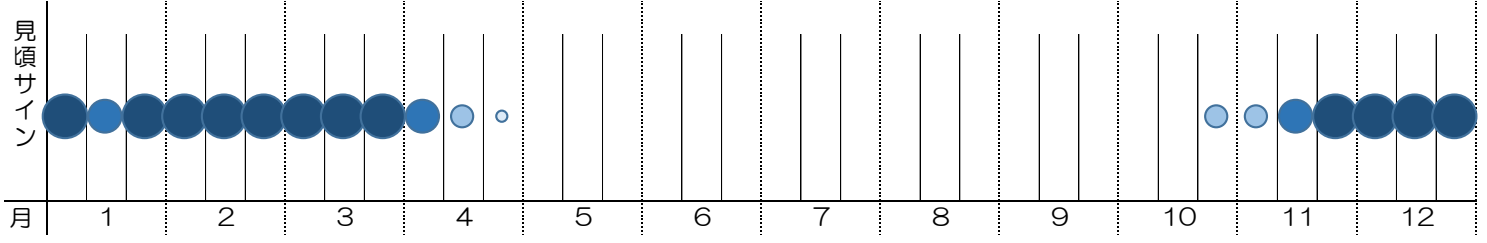

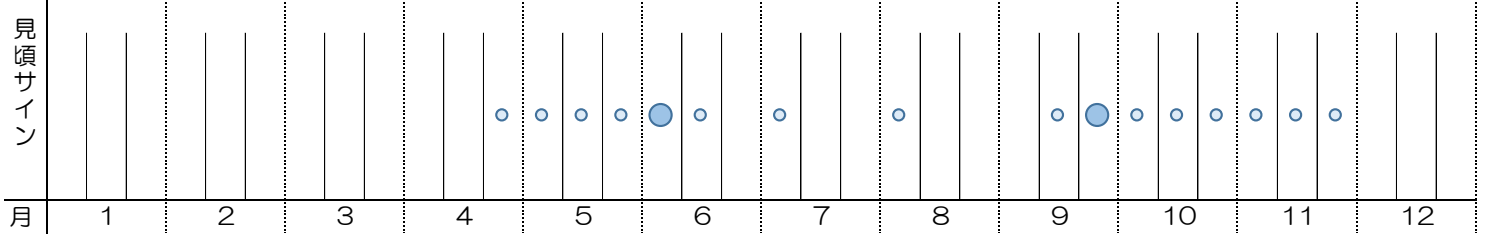

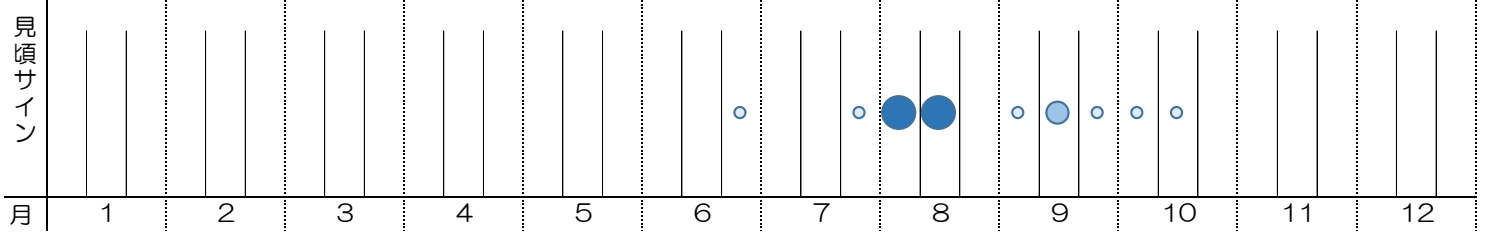
江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

13	カモ目	カモ科	<p>ホオジロガモ</p>  <p>(特徴など) 全長45cm程度。雌雄ともに頭が三角形で目が金色。雄は頭が緑色で目の下に白斑あり。雌は頭部が褐色で白い首輪がある。</p> <p>【観察者コメント】 ・津花の海上や開陽丸側の入り江、愛宕の波消シテトラボットの外海側でよく見られる。</p>	<p>見頃サイン</p>  <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
			<p>ウミアイサ</p>  <p>(特徴など) 全長60cm程度。雌雄とも目と嘴が赤色。雄は頭部が黒緑色で冠羽があり、胸は褐色。雌は頭部が褐色で冠羽があり、胸は灰色。</p> <p>【観察者コメント】 ・シノリガモと同じような場所で見られる。春にはオスが首を真後ろに持ち上げるポーズをとり、メスの気を取る姿が見られる。</p>	<p>見頃サイン</p>  <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
15	カイツブリ目	カイツブリ科	<p>アカエリカイツブリ</p>  <p>(特徴など) 全長45cm程度。嘴が黄色で先端が黒色。夏は首が赤褐色で顔が白色。冬は首が淡褐色で目の後方に目立った白色部がある。</p> <p>【観察者コメント】 ・港湾内や開陽丸側入り江で見られる。単独でいることが多く、一瞬カムリカイツブリと見間違える。春にはつがいでいることも。</p>	<p>見頃サイン</p>  <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
			<p>カムリカイツブリ</p>  <p>(特徴など) 全長55cm程度。カイツブリ類で最も大きく、首が長い。夏は黒色の冠羽と頬に赤色の飾り羽があり、冬は冠羽はなく頬は白色となる。</p> <p>【観察者コメント】 ・真冬には見られない。初冬と春に港湾内や開陽丸側の入り江で見られる。春には夏羽のいわゆる冠の着いた頭になる。</p>	<p>見頃サイン</p>  <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>

江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

17	カイツブリ目	カイツブリ科	 <p>ミミカイツブリ</p> <p>(特徴など) 全長35cm程度。夏は頭部と顔が黒色で金栗色の冠羽があり、首は赤褐色。冬は顔から首の前側が白色となる。</p> <p>【観察者コメント】 ・ごくまれに見られた。遠いとハジロカイツブリとの区別が難しい。胸の白い羽がはっきりしている。</p>	<p>見頃サイン</p>  <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
			 <p>ハジロカイツブリ</p> <p>(特徴など) 全長30cm程度。嘴が上に反っている。夏は顔から首が黒く、顔に金色の飾り羽がある。冬は上面が黒褐色で顔から首が淡褐色となる。</p> <p>【観察者コメント】 ・冬は群れていることが多く港湾内でよく見られる。4月には、夏羽になりかけ、色が黒くなり、黄色の眉羽も目立つようになる。</p>	<p>見頃サイン</p>  <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
19	ハト目	ハト科	 <p>キジハト</p> <p>(特徴など) 全長35cm程度。体はぶどう色を帯びた褐色で首に黒と淡い青色のしま、翼に鱗状の模様が見られる。</p> <p>【観察者コメント】 ・北海道では春から秋にかけて見られる。鷗島ではたまたま来てしまい、必ずハヤブサに追い回され、いつも身を細くしていた。</p>	<p>見頃サイン</p>  <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
			 <p>アオハト</p> <p>(特徴など) 全長35cm程度。体は緑色で胸は黄色味がかり腹は白色。脇から下尾筒に黒白のしま模様が見られる。</p> <p>【観察者コメント】 ・夏から秋にかけて、愛宕の波消シテトラボッドに海水を飲みに来る。鷗島ではキジハト同様よくハヤブサに追われていた。</p>	<p>見頃サイン</p>  <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>


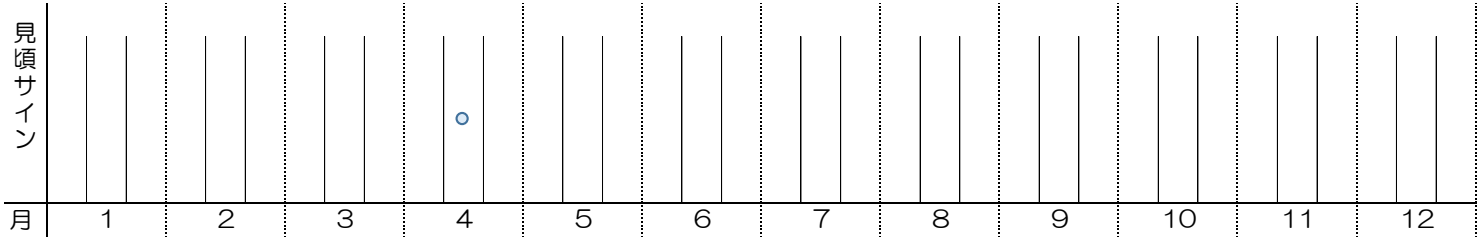

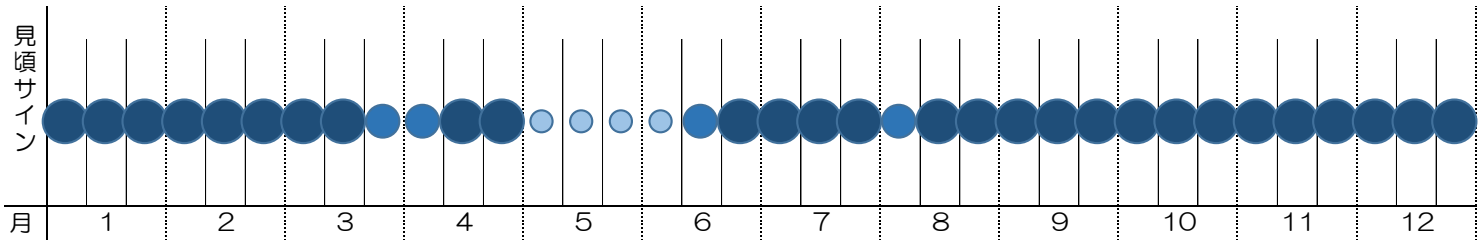

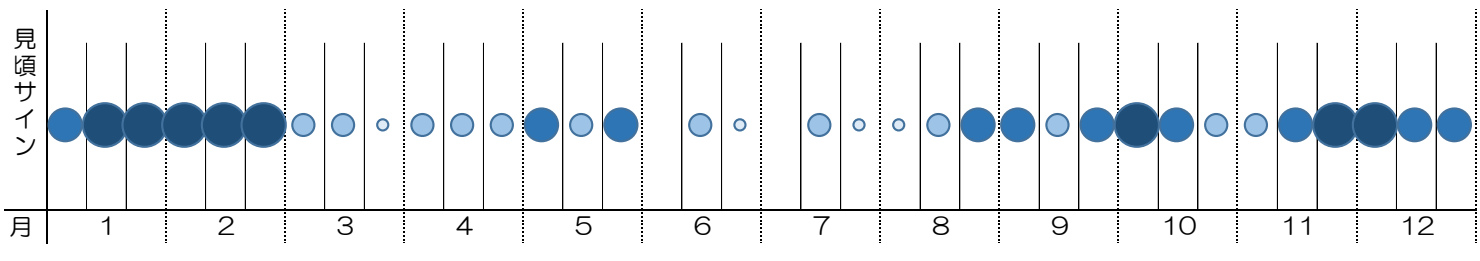

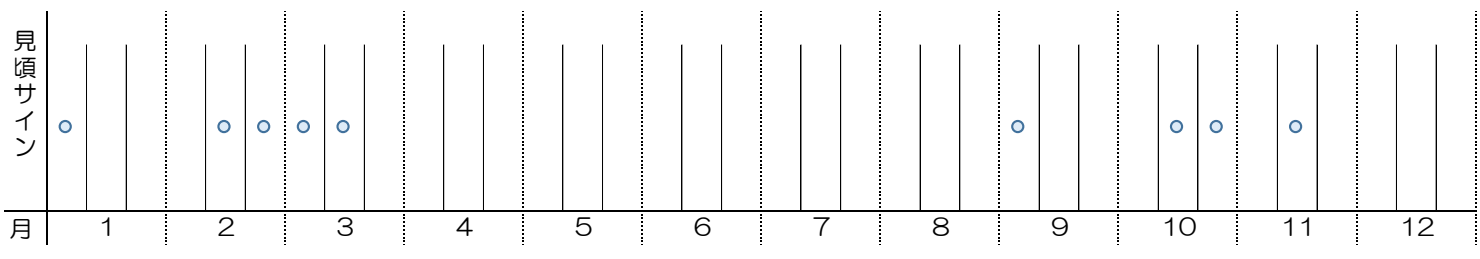
江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

21	アビ目	アビ科	アビ	<p>(特徴など) 全長65cm程度。アビ類の中で最も小さく嘴が若干上に反っている。夏は頭部が灰色でのどが赤褐色。冬は上面が灰褐色で白い小斑が散在。</p> <p>【観察者コメント】 ・港湾内に入ってゆっくり餌を探していた。嘴が反り返っているのでオオハムとの区別は容易。</p>	見頃サイン	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			オオハム	<p>(特徴など) 全長70cm程度。夏は頭部が灰色でのどが黒緑色。背が黒色で白色の小斑がある。冬は上面が黒褐色で下面は白色。</p> <p>【観察者コメント】 ・冬から春にかけて、島周辺でよく見られた。春には夏羽になりかけの姿も見られた。</p>			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
23	アビ目	アビ科	ハシジロアビ	<p>(特徴など) 全長90cm程度。アビ類で最も大きい。嘴が太く上に反る。夏は頭部が黒色でのどに2つの白斑がある。冬は上面が褐色で下面が白色。</p> <p>【観察者コメント】 ・ウミウと同じくらいの大さきがあるので、オオハムとの区別もしやすい。嘴の太いのが特徴。</p>	見頃サイン	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			ヒメウ	<p>(特徴など) 全長75cm程度。全身が黒く光沢がある。繁殖期には顔が赤色となり頭に2つの冠羽を生じる。冬には顔の赤色と冠羽はなくなる。</p> <p>【観察者コメント】 ・冬は断崖の切り立った場所に爪を引っかけ夜を明かす。春は顔が婚姻色で赤くなり、羽も紫色に反射美しい。夏は見られない。</p>			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
24	カツオドリ目	ウ科	ヒメウ	<p>(特徴など) 全長75cm程度。全身が黒く光沢がある。繁殖期には顔が赤色となり頭に2つの冠羽を生じる。冬には顔の赤色と冠羽はなくなる。</p> <p>【観察者コメント】 ・冬は断崖の切り立った場所に爪を引っかけ夜を明かす。春は顔が婚姻色で赤くなり、羽も紫色に反射美しい。夏は見られない。</p>	見頃サイン	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			アビ	<p>(特徴など) 全長65cm程度。アビ類の中で最も小さく嘴が若干上に反っている。夏は頭部が灰色でのどが赤褐色。冬は上面が灰褐色で白い小斑が散在。</p> <p>【観察者コメント】 ・港湾内に入ってゆっくり餌を探していた。嘴が反り返っているのでオオハムとの区別は容易。</p>			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

25	カツオドリ目 ウ科	<p>カワウ</p>  <p>(特徴など) 全長80cm程度。体はほぼ黒色で背に緑色光沢がある。ウミウと似ているが、嘴基部の黄色部分が丸になるのがカワウである。</p> <p>【観察者コメント】 ・春に鷗島の上空を上ノ国町の天の川と厚沢部川の間を行き来するように群れで通過していくのが見られた。</p>	見頃サイン	
		<p>ウミウ</p>  <p>(特徴など) 全長85cm程度。体はほぼ光沢のある黒色。カワウと良く似ているが、嘴基部の黄色部分が三角になるのがウミウである。</p> <p>【観察者コメント】 ・柳崎の方に集団営巣地があるものと思われ、春から夏はそこから移動してくる。冬場は鷗島の断崖下の岩場で集団で夜を明かす。</p>	見頃サイン	
27	ペリカン目 サギ科	<p>アオサギ</p>  <p>(特徴など) 全長95cm程度。日本のサギ類で最も大きい。体の上面が灰色。腹部が白色で黒色の縦しまがある。夏には黒色の冠羽が生じる。</p> <p>【観察者コメント】 ・夏は時々鷗島の外海側の浅瀬で採餌している姿が見られた。冬場は鷗島断崖下の岩場で風をよけて休んでいる姿が毎日見られた。</p>	見頃サイン	
		<p>ダイサギ</p>  <p>(特徴など) 全長90cm程度。全身が白色で夏には背と胸に飾り羽を生じ、目元が青緑色となる。冬は飾り羽がなくなり、目元は黄色。</p> <p>【観察者コメント】 ・北海道では夏鳥とされているが、越冬する個体が多い。アオサギと一緒に鷗島の岩場で休んでいることがあった。</p>	見頃サイン	


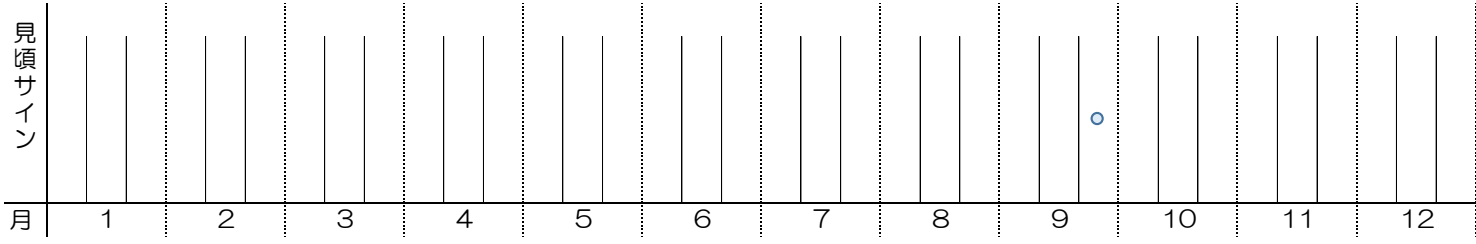

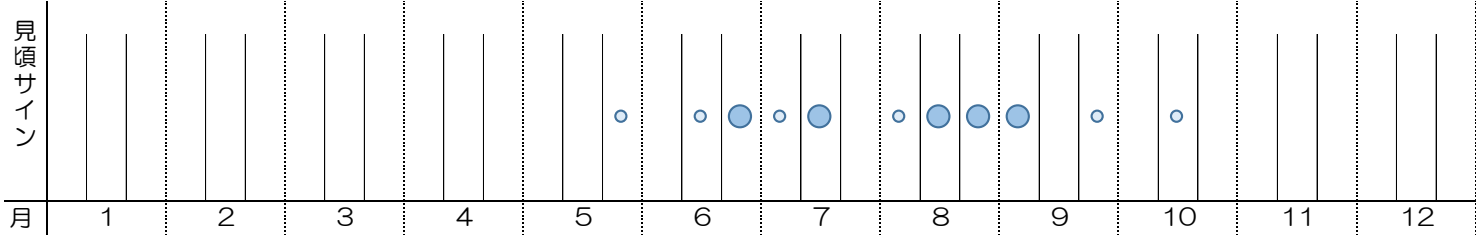

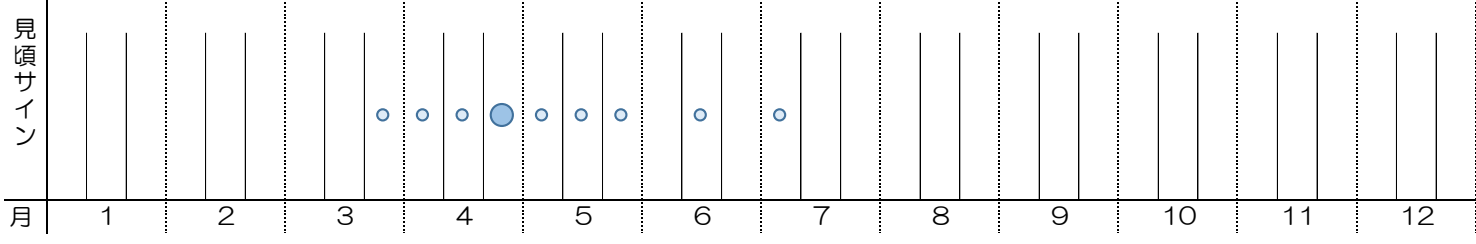

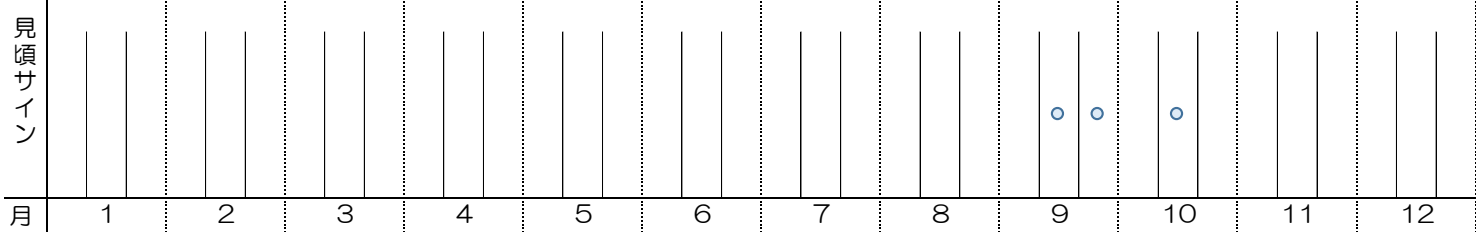
江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 75%以上 75%未満50%以上 50%未満25%以上 25%未満で出現あり

No.	目次	種名	特徴・観察コメント	見頃サイン
29	カッコウ目	カッコウ科	ホトトギス (写真)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); margin-right: 5px;">見頃サイン</div> </div>
		<p>(特徴など) 全長30cm程度。腹に横しまの斑があり、特許許可局と聞こえる声で鳴く。夜間にも鳴くことが多い。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島では見たことがない。おそらくハヤブサに追われるのが目に見えており近づかなかったか。鷗島からも声はよく聞こえる。</p>		
30	カッコウ目	カッコウ科	ツツドリ 	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); margin-right: 5px;">見頃サイン</div> </div>
		<p>(特徴など) 全長35cm程度。カッコウに似るが目が暗色で、腹の横しまが太く粗い。ポポッ、ポポッと連続して鳴く。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島では見たことがない。おそらくハヤブサに追われるのが目に見えており近づかなかったか。鷗島からも声はよく聞こえる。</p>		
31	カッコウ目	カッコウ科	カッコウ 	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); margin-right: 5px;">見頃サイン</div> </div>
		<p>(特徴など) 全長35cm程度。頭部から上面が灰色で、腹は白色に黒色の横しまがある。カッコウとはっきりした声で鳴く。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島では見たことがない。おそらくハヤブサに追われるのが目に見えており近づかなかったか。鷗島からも声はよく聞こえる。</p>		
32	ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ (写真)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg); margin-right: 5px;">見頃サイン</div> </div>
		<p>(特徴など) 全長30cm程度。体は褐色、灰色、黒色の樹皮に似た複雑な模様で、キョキョキョと長く鳴き続ける。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島灯台横の転落防止柵に止まっていたところ、私の姿を見て飛び立ち、近くの松の枝に止まり直し、擬態をしていた。</p>		





江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

33	アマツバメ目 アマツバメ科	ハリオアマツバメ 	<p>(特徴など) 全長20cm程度。体はほぼ黒褐色で喉、三列風切の一部、下尾筒が白い。アマツバメより大型で翼の中央部の幅が広い。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島では見たことがなく、津花を飛び交うのを一度見たきり。振興局の上空では春に必ず飛んでいるのを見ることができる。</p>	見頃サイン 月	
34	アマツバメ目 アマツバメ科	アマツバメ 	<p>(特徴など) 全長20cm程度。体は黒褐色で喉と腰が白い。翼は鎌形で尾が深い凹尾。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島上空で秋になると必ず群れて、頭の横を猛スピードでかすめていく。乙部町の海岸の岩場で繁殖しているようだ。</p>	見頃サイン 月	
35	チドリ目 チドリ科	コチドリ 	<p>(特徴など) 全長15cm程度。スズメ大のチドリ類。頭頂と背が灰褐色で下面が白色。頭と胸に黒線があり、目の周りが黄色い。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島の岩場と港の資材置き場で見かけた。後者では産卵もあるかと思ったが、カラスとカモメに常時監視され、あきらめたよう。</p>	見頃サイン 月	
36	チドリ目 ミヤコドリ科	ミヤコドリ 	<p>(特徴など) 全長45cm程度。頭部から上面は黒色で下面は白色。赤く長い嘴が特徴的。</p> <p>【観察者コメント】 ・27年の秋にウミネコの横に立っていた。変な模様と赤い嘴ですぐにミヤコドリとわかった。3年間の唯一の珍鳥。</p>	見頃サイン 月	




江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

年	目	科	種名	特徴など	観察者コメント	見頃サイン
37	チドリ目	シギ科	アオアシシギ	(特徴など) 全長35cm程度。体の上面が灰褐色で軸斑がある。下面は白色。嘴がやや上に反り、足は緑青色。	【観察者コメント】 ・鷗島の港湾内側を低く飛びながら、ぐるぐると単独で移動し、岩場で一度休んだところで姿を確認した。	見頃サイン 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
						
38	チドリ目	シギ科	タカブシギ	(特徴など) 全長20cm程度。体の上面が灰褐色で白点がある。腹部・腰は白色。足は長めで黄色い。	【観察者コメント】 ・秋の渡りの時期に、鷗島北側突堤方から島の外海側に声を出しながら、単独で移動していく姿見られた。	見頃サイン 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
						
39	チドリ目	シギ科	キアシシギ	(特徴など) 全長25cm程度。体の上面が全て灰褐色。下面は夏では縦斑・横斑が生じるが、冬では灰色で斑はなくなる。	【観察者コメント】 ・鷗島北側の岩場に数羽で何かついばんでいる様子を数回目撃。あまり遠くへは行かず、岩場を転々としていた。	見頃サイン 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
						
40	チドリ目	シギ科	イソシギ	(特徴など) 全長20cm程度。体の上面が黒灰褐色で下面は胸に縦斑、腹部は白色で翼の前にくいこんでいる。	【観察者コメント】 ・鷗島の外海側の岩場で探餌している姿をまれに見ることがあった。近くでは厚沢部川や天の川の河原で繁殖している。	見頃サイン 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
						

江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ○ 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

年	目	科	種名	特徴	観察者コメント	見頃サイン			
41	チドリ目	カモメ科	ミツユビカモメ	(特徴など) 全長40cm程度。背と翼の上面は灰色で翼の先端が三角形に黒い。頭から下面は白色だが冬は後頭が黒色となる。足が黒い。	【観察者コメント】 ・体が小さくオオセグロカモメの半分程度。嘴と足が黒なので区別しやすい。ハヤブサに襲われ食べ頃の大きさだったのだと思う。	見頃サイン 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12			
				(特徴など) 全長40cm程度。嘴と足が赤色。背と翼の上面が青灰色で翼の先端が黒い。夏は頭部が黒褐色だが、冬は白色で目の後ろに黒斑がある。	【観察者コメント】 ・太平洋側ではよく見かけるが日本海ではまれで、一度しか見る事ができなかった。荒れた日にカモメと海上を移動していた。				
							ウミネコ	(特徴など) 全長45cm程度。背と翼の上面が濃い灰色で尾の先端付近に黒帯がある。嘴は黄色く先端に赤と黒の模様があり足は黄色。	見頃サイン 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
								(特徴など) 全長45cm程度。背と翼の上面が青灰色で翼の先端は黒色に白斑がある。嘴は細く黄色で足も黄色である。	
カモメ	(特徴など) 全長45cm程度。背と翼の上面が青灰色で翼の先端は黒色に白斑がある。嘴は細く黄色で足も黄色である。	見頃サイン 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12							
44	チドリ目		カモメ科	カモメ	(特徴など) 全長45cm程度。背と翼の上面が青灰色で翼の先端は黒色に白斑がある。嘴は細く黄色で足も黄色である。	【観察者コメント】 ・海の荒れた日に港湾内の海上で休息を取っている。あまり陸に上がらず、その足を見ることはまれである。	見頃サイン 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12		
				(特徴など) 全長45cm程度。背と翼の上面が青灰色で翼の先端は黒色に白斑がある。嘴は細く黄色で足も黄色である。	【観察者コメント】 ・海の荒れた日に港湾内の海上で休息を取っている。あまり陸に上がらず、その足を見ることはまれである。				


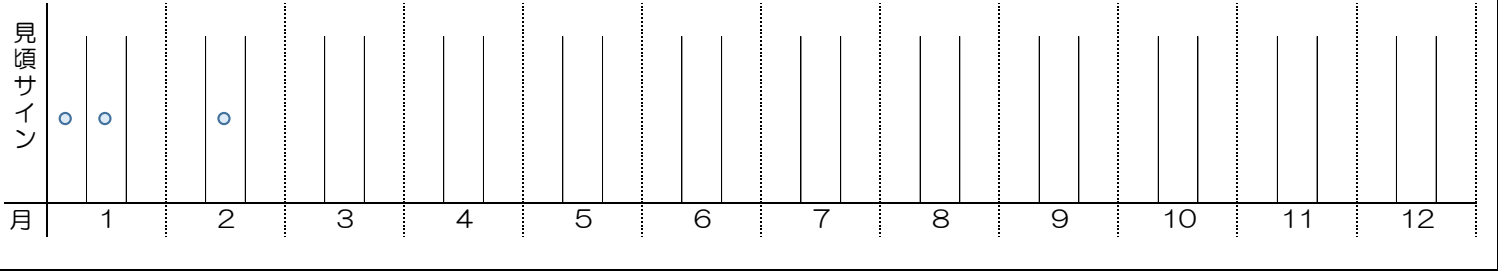

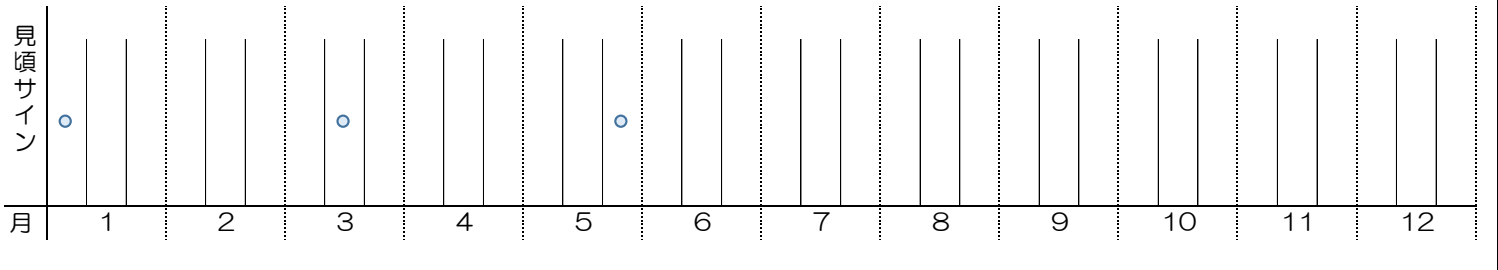

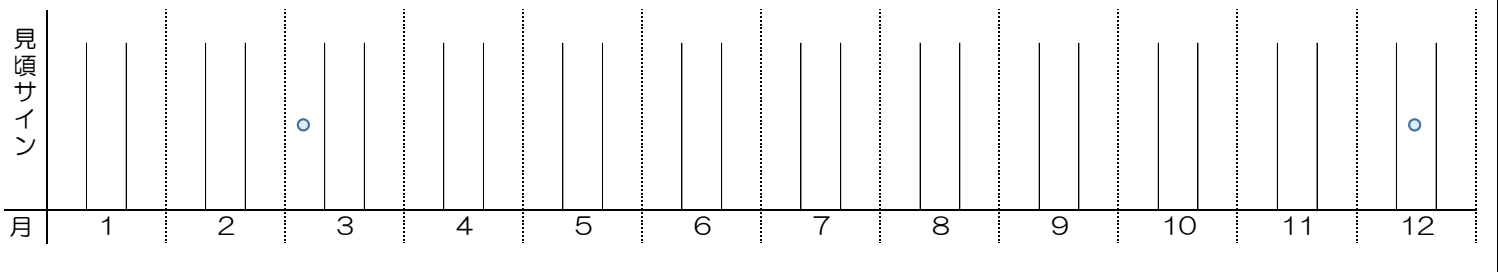

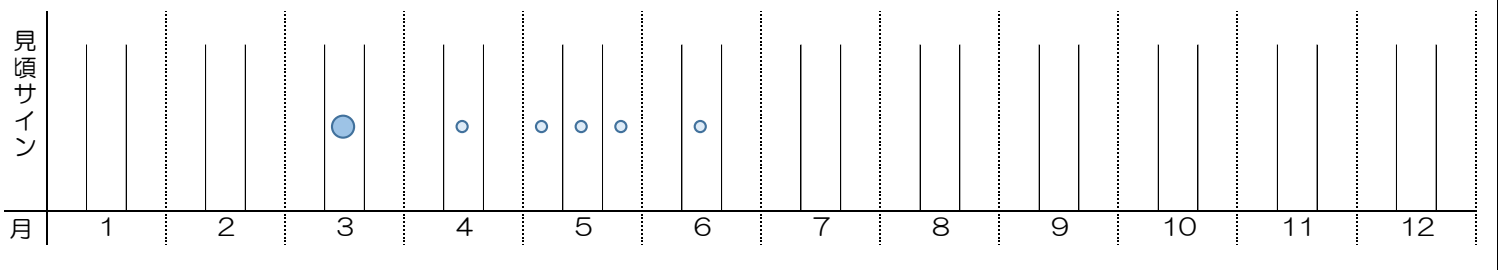
江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

45	チドリ目	カモメ科	ワシカモメ	<p>(特徴など) 全長65cm程度。背と翼の上面は灰色。翼の先端は黒くなく上面とほぼ同色の暗灰色。</p> <p>【観察者コメント】 ・オオセグロカモメよりやや小さい体をしている。ワシカモメと言うがオオセグロカモメほどどう猛ではない。</p>	見頃サイン	<p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
				<p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		
46	チドリ目	カモメ科	シロカモメ	<p>(特徴など) 全長70cm程度。大型カモメ類の中で最も大きい。背と翼の上面は淡い青灰色で翼の先端は白色。</p> <p>【観察者コメント】 ・荒れた日に消波突堤にオオセグロカモメと並んで休んでいるが一回り大きい。警戒心が強くじっと見ていると気がついて逃げる。</p>	見頃サイン	<p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
				<p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		
47	チドリ目	カモメ科	セグロカモメ	<p>(特徴など) 全長60cm程度。背と翼の上面は青灰色で翼の先端は黒色。オオセグロカモメに似ているが、背の色が明らかに淡い。</p> <p>【観察者コメント】 ・自分としてはなかなかオオセグロカモメの若鳥との区別がしづらく、明確なもののみカウント。数は少ないように感じた。</p>	見頃サイン	<p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
				<p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		
48	チドリ目	カモメ科	オオセグロカモメ	<p>(特徴など) 全長60cm程度。背と翼の上面は濃い灰色で翼の先端は黒色。嘴は黄色く先端に赤点がある。足はピンク色。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島の主。唯一の皆勤賞。江差追分のカモメは、このカモメと確信している。子ガモメは寂しそうにチョリースと鳴く。</p>	見頃サイン	<p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
				<p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		

江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

49	チドリ目	ウミスズメ科	<p>ハシブトウミガラス</p> 	<p>(特徴など) 全長45cm程度。ウミガラスに似るが嘴が太く、根元に白線がある。また、冬は目の後方が黒色。</p> <p>【観察者コメント】 ・海が荒れた日に、フェリー乗り場の港湾内に数日羽を休めていた。名前のとおり嘴が太い印象がある。</p>	<p>見頃サイン</p> 
			<p>ウミガラス</p> 	<p>(特徴など) 全長45cm程度。ウミスズメ科で最も大きく嘴・首が長目。夏は頭、首、体の上面が黒褐色で下面が白い。冬は顔・喉も白色となる。</p> <p>【観察者コメント】 ・港湾内で一度、鷗島の海上で一度姿を見ることができた。天売島のオロロンチョウで有名である。</p>	<p>見頃サイン</p> 
51	チドリ目	ウミスズメ科	<p>ウミスズメ</p> 	<p>(特徴など) 全長25cm程度。嘴は短く太く黄白色。夏は頭・喉が黒色で目の後方に白線があり背は青灰色。冬は喉が白色となる。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島外海の海上で、時々海に潜りながら移動していた。小さな体だが一回の潜水時間は2分ぐらい、100m以上移動していた。</p>	<p>見頃サイン</p> 
			<p>ウトウ</p> 	<p>(特徴など) 全長40cm程度。体は黒褐色で腹部は白色。夏は嘴に白色の突起があり、顔に2本の白い飾り羽がある。冬は嘴の突起と飾り羽はない。</p> <p>【観察者コメント】 ・春の風のない穏やかな日に港湾内に入り、潜水をしながら移動していた。一回の潜水時間は3分ぐらい、200m以上動くことも。</p>	<p>見頃サイン</p> 


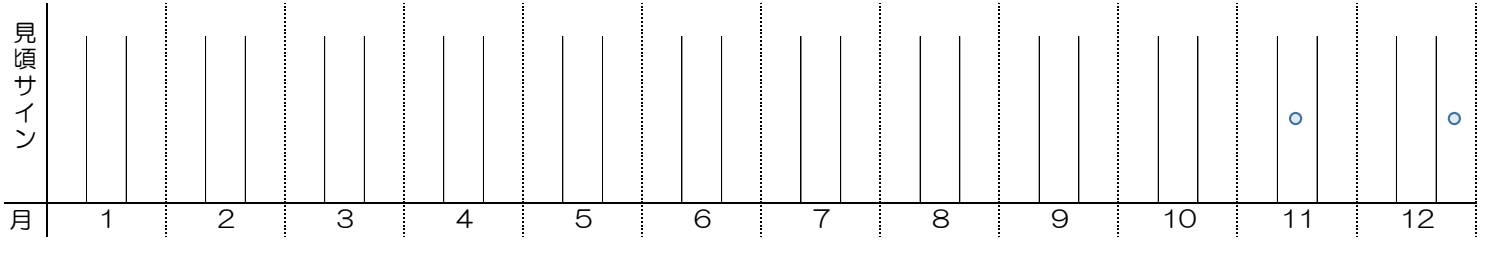

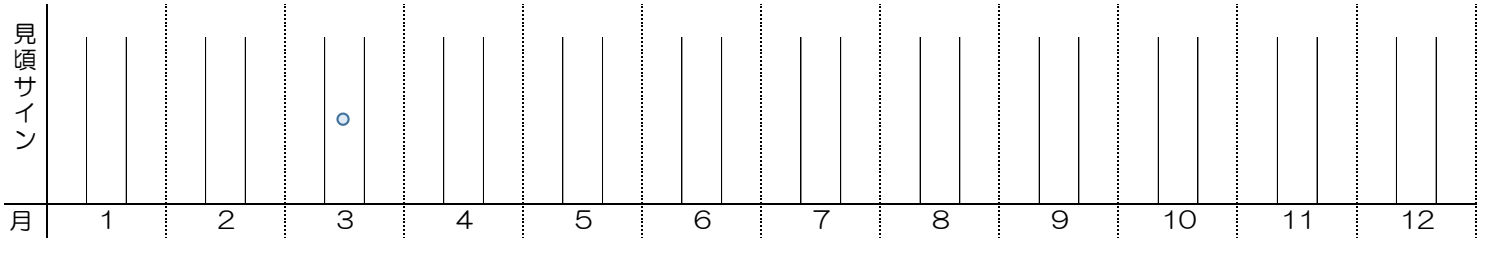

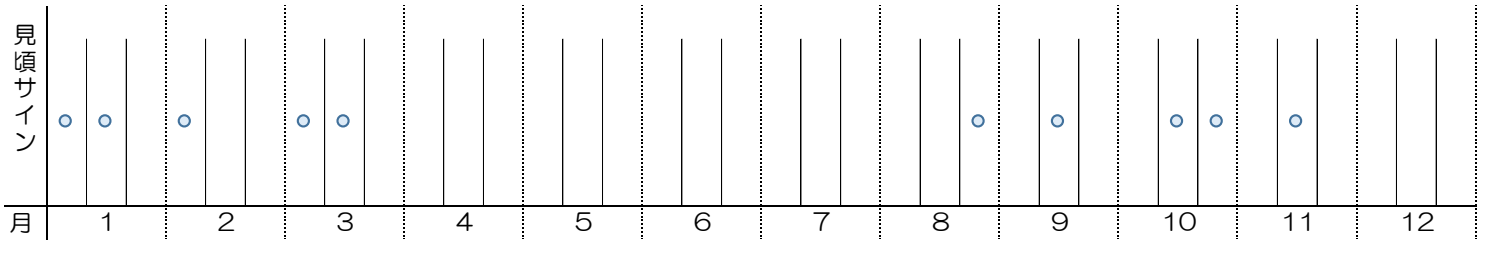

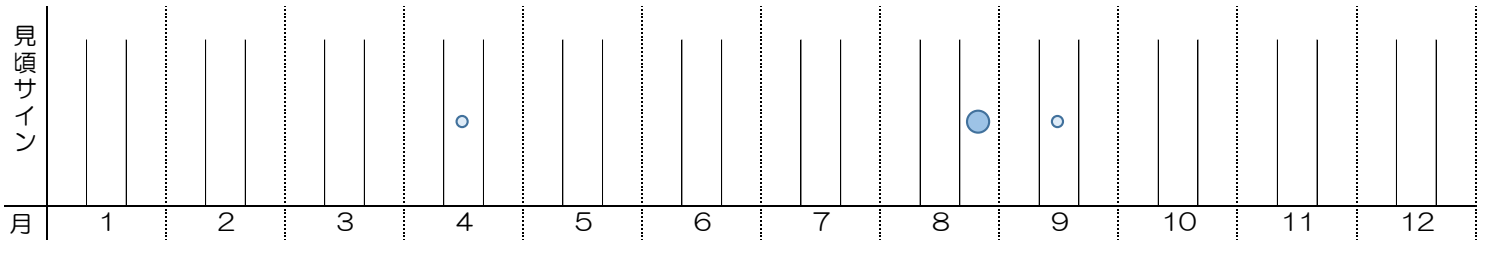
江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

種別	科	種名	特徴など	観察者コメント	見頃サイン
53	タカ目 ミサゴ科	ミサゴ	<p>(特徴など) 雄55cm・雌65cm程度。 頭から下面は白色で体の上面は黒褐色。黒い過白線と胸の褐色の帯が特徴的。</p>	<p>【観察者コメント】 ・鷗島には時々思い出したように飛来するが、岩場などで見張ることはない。海が深く餌場としてはミサゴには利用しづらいよう。</p>	<p>見頃サイン</p>
54	タカ目 タカ科	トビ	<p>(特徴など) 雄60cm・雌70cm程度。 体は黒褐色。嘴と足は黒色。尾が他のワシタカ類と異なり凹尾である。</p>	<p>【観察者コメント】 ・漁港が多い割に数が少ない。よくカラスに追われ尾羽をつつかれる姿を見かける。鷗島のイタヤカエデを止まり木にしている。</p>	<p>見頃サイン</p>
55	タカ目 タカ科	オジロワシ	<p>(特徴など) 雄80cm・雌95cm程度。 体は全体が褐色で尾はくさび形で白色。嘴・足は黄色い。個体によって頭が淡色。</p>	<p>【観察者コメント】 ・冬に津花の海岸近くを西風を受けながら帆翔している姿をよく見ることが出来る。鷗島でもやや風の弱い日に餌を探していた。</p>	<p>見頃サイン</p>
56	タカ目 タカ科	オオワシ	<p>(特徴など) 雄90cm・雌100cm程度。 黄色い巨大な嘴とくさび形の尾をもった大型のワシ。成鳥では額、雨覆、腿、尾が白色で他は黒褐色。</p>	<p>【観察者コメント】 ・オジロワシに比べると数が少ない。年によって見かける頻度が変わる。羽ばたきがオジロワシと違い力強くぶれがない。</p>	<p>見頃サイン</p>





江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

57	タカ目	タカ科	<p>ハイタカ</p>  <p>(特徴など) 雄30cm・雌40cm程度。体は上面が暗灰色で白い肩斑がある。下面は白色に雌は橙色の雌は褐色の横斑がある。</p> <p>【観察者コメント】 ・強風の日にイタヤカエデから飛び立ち、陸地の方へ移動していった。江差市街地でスズメやヒヨドリをおそう姿がよく見られた。</p>	見頃サイン	 <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
			<p>オオタカ</p>  <p>(特徴など) 雄50cm・雌55cm程度。体は上面が黒褐色で白い肩斑と尾に4本の黒帯がある。下面は白色で黒く細い横斑がある。</p> <p>【観察者コメント】 ・ただ一度だけ、鷗島のイタヤカエデに止まっていたオオタカが、島を回り込むように水平飛行して移動する姿を見かけた。</p>	見頃サイン	 <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
59	タカ目	タカ科	<p>ノスリ</p>  <p>(特徴など) 全長55cm程度。全体に褐色で胸から腹、翼の下面は淡褐色。喉の左右と脇に暗褐色の斑がある。翼の先端と雨覆の一部に黒斑がある。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島の上空をホバリングしながら、小鳥やエゾヤチネズミを探る姿を見かけた。特に風の強い日に多かった記憶がある。</p>	見頃サイン	 <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
			<p>カワセミ</p>  <p>(特徴など) 全長15cm程度。頭から体の上面はコバルト色で目の下と下面は橙色。雄は嘴が黒いが雌は下嘴が赤い。足は赤色。</p> <p>【観察者コメント】 ・ハヤブサの格好の餌。目の前でアタックされ、30秒後には青い羽根がバラバラと宙を舞っていた。豊部内川で繁殖している。</p>	見頃サイン	 <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
60	ブッポウソウ目	カワセミ科			


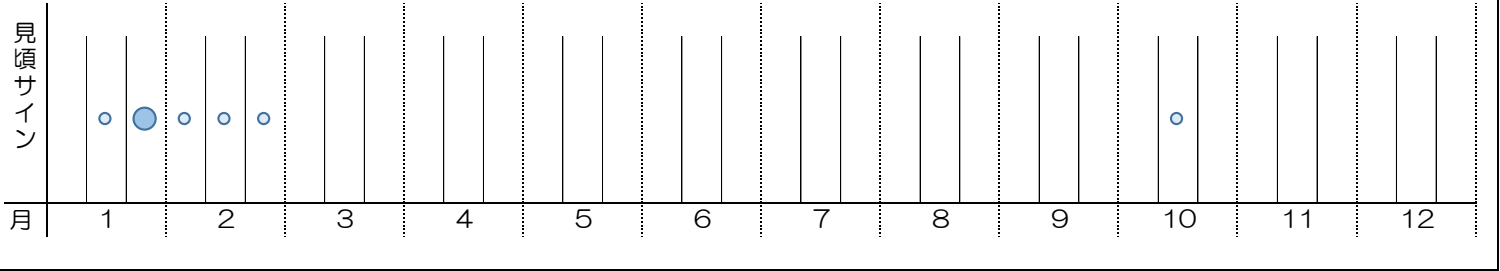

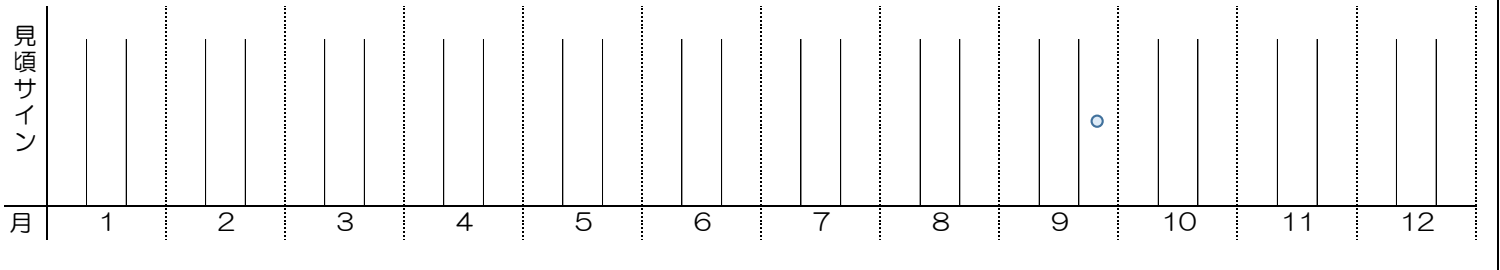

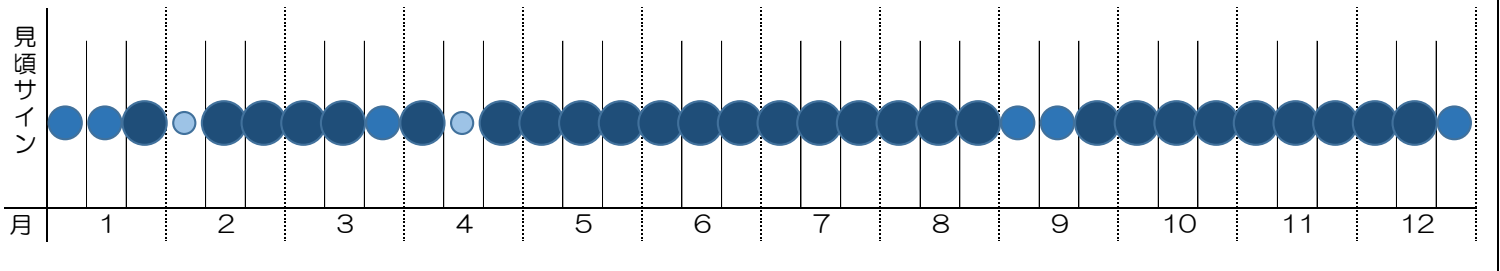

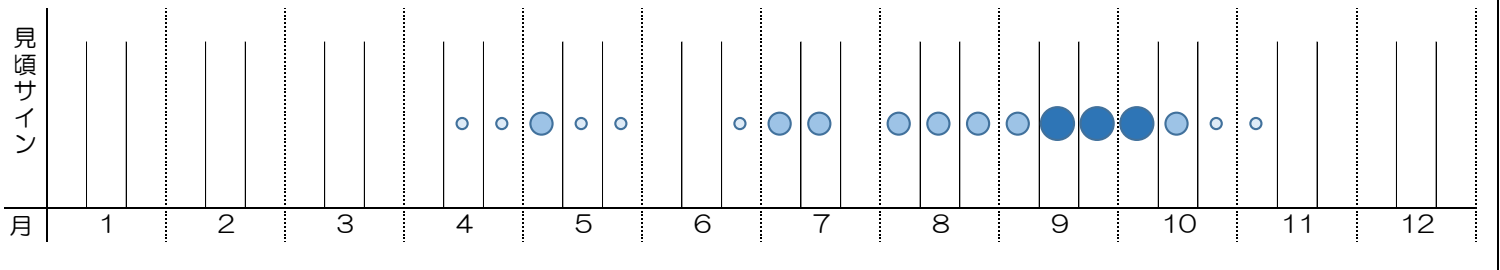
江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

61	ブッポウソウ目	カワセミ科	<p>ヤマセミ</p> 	<p>(特徴など) 全長40cm程度。頭に白黒の目立つ冠羽がある。体は上面が白黒のまだらで下面は白色で胸に黒斑。雄では胸の黒斑に黄褐色が入る。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島でふわふわ飛びながら岩場伝いに休んでいたが、必ずハヤブサに追いかかれ、命からがら海水に潜って難を逃れている。</p>	見頃サイン							
			月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
62	キツツキ目	キツツキ科	<p>アリスイ</p> 	<p>(特徴など) 全長20cm程度。体は黒色、褐色、灰色の複雑な模様で頭から背に入る黒線が特徴的。尾には黒色の横斑がある。</p> <p>【観察者コメント】 ・地面を這っているイメージだったが鳥らしく木の梢に止まっていた。キツツキらしさは一切なく、迷彩服を着たムクドリのような。</p>	見頃サイン							
			月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
63	キツツキ目	キツツキ科	<p>コゲラ</p> 	<p>(特徴など) 全長15cm程度。頭から体の上面は黒褐色で背と翼に白色の横斑がある。下面は白色で腹に褐色の縦斑が入る。</p> <p>【観察者コメント】 ・カラ類の混群といっしょに行動している姿が何度か見られた。イタヤカエデの木枯れた部分をよくついていた。</p>	見頃サイン							
			月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
64	キツツキ目	キツツキ科	<p>アカゲラ</p> 	<p>(特徴など) 全長25cm程度。頭から上面は黒色で翼に細かな白斑と背に逆ハの字の白斑がある。下面は白色で下腹部は赤色。雄は後頭部は赤色。</p> <p>【観察者コメント】 ・秋になると鷗島にやってきて、枯れ木を中心に虫を探していた。クロマツの木がお気に入りのようで、横の電柱も叩いていた。</p>	見頃サイン							
			月	1	2	3	4	5	6	7	8	9


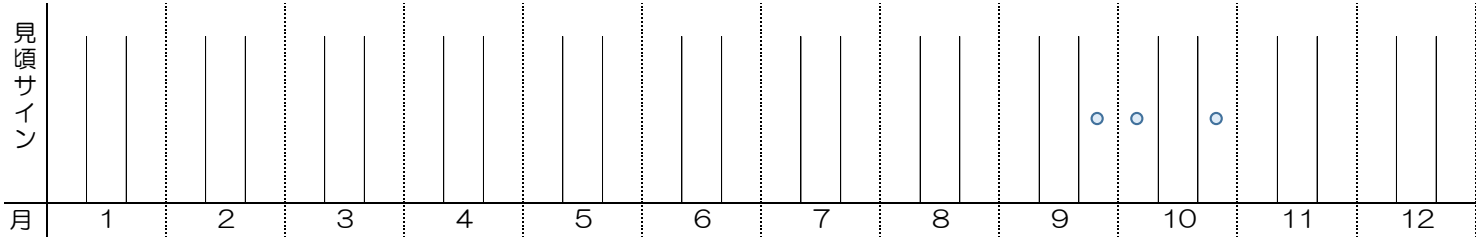

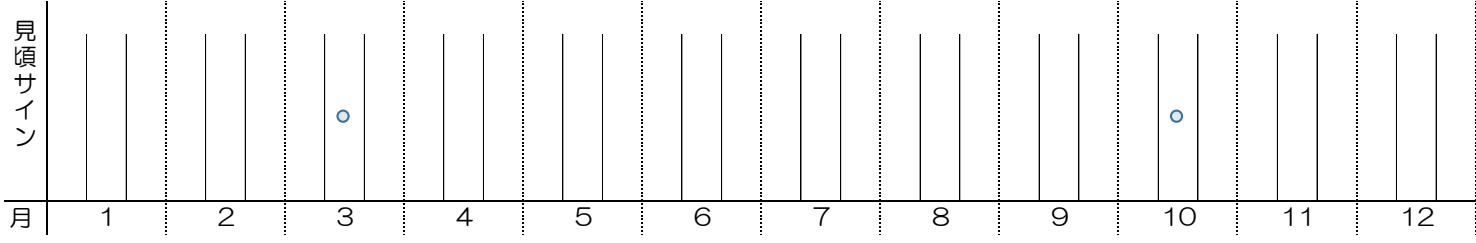

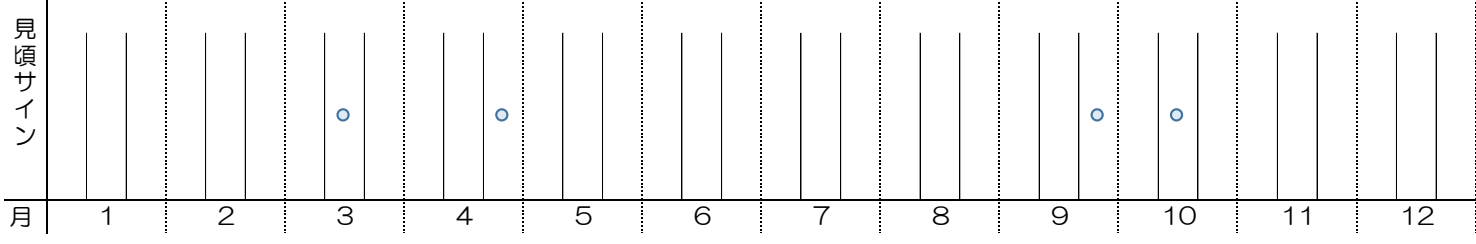

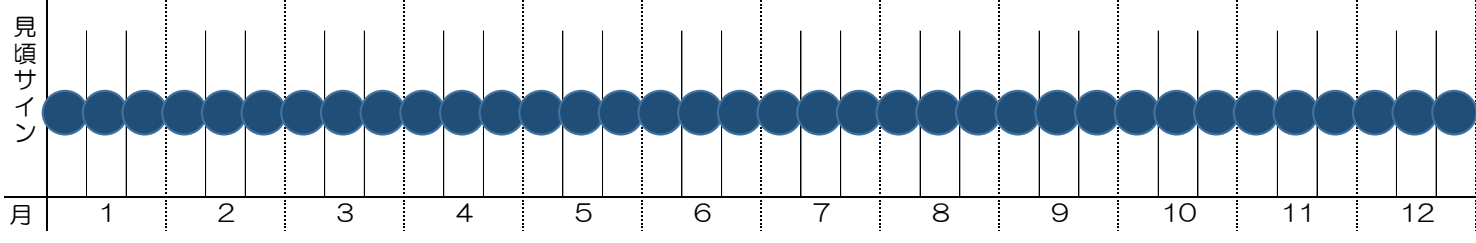
江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

65	ハヤブサ目	ハヤブサ科	<p>チョウゲンボウ</p>  <p>(特徴など) 雄30cm・雌35cm程度。雄は頭と尾が青灰色、背と雨覆が赤褐色。雌は上面が赤褐色。雌雄とも下面は黄褐色で褐色部に黒斑が入る。</p> <p>【観察者コメント】 ・26年冬に鷗島に居着き見ることができた。ホバリングしながら小鳥を狙っていたようである。コチョウゲンボウの可能性も。</p>	<p>見頃サイン</p>  <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
			<p>チゴハヤブサ</p>  <p>(特徴など) 全長30cm程度。上面は青黒色で黒いひげ状の斑が入る。下面は白色で黒い縦斑があり下腹部は赤褐色。</p> <p>【観察者コメント】 ・秋の渡りの時期に一度だけ、鷗島の電線に止まっていた。悪天候のせいなのか羽がぼろぼろで疲れた様子に見えた。</p>	<p>見頃サイン</p>  <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
67	ハヤブサ目	ハヤブサ科	<p>ハヤブサ</p>  <p>(特徴など) 雄40cm・雌50cm程度。上面は青黒色で黒いひげ状の斑が入る。下面は白色で黒い細かな横斑がある。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島の岩場でほぼ毎年繁殖している。渡り鳥の通過地で、繁殖に都合なのだと思う。飛ぶ姿は戦闘機のようにカッコいい。</p>	<p>見頃サイン</p>  <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
			<p>モズ</p>  <p>(特徴など) 全長20cm程度。雄は頭が橙褐色で黒色の過眼線があり背が青灰色。翼に白斑が入る。雌は全体に褐色のぼんやりとした色。</p> <p>【観察者コメント】 ・秋になると非常によく見かけるようになる。春には、オスが他の数種類の鳥の鳴き真似をし、混乱させられる。</p>	<p>見頃サイン</p>  <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>


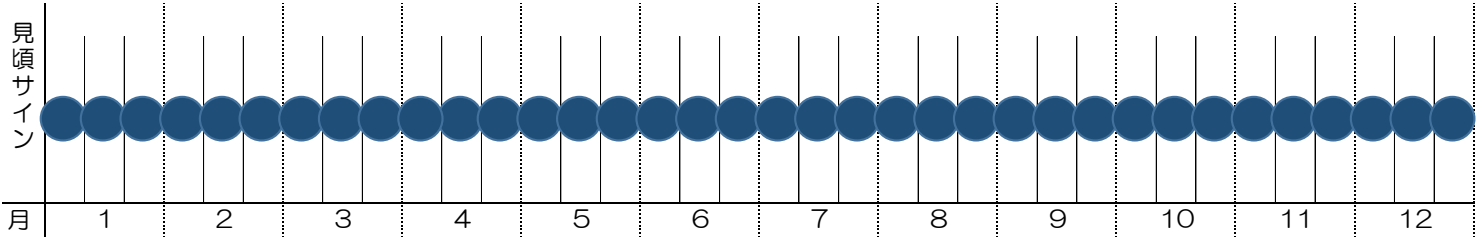

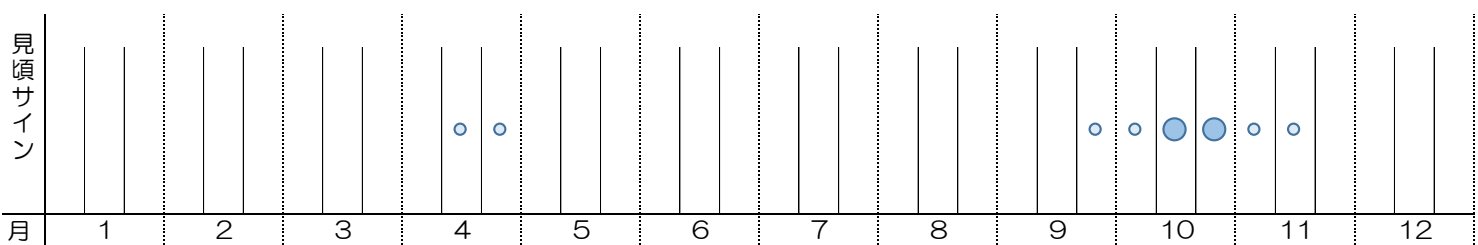

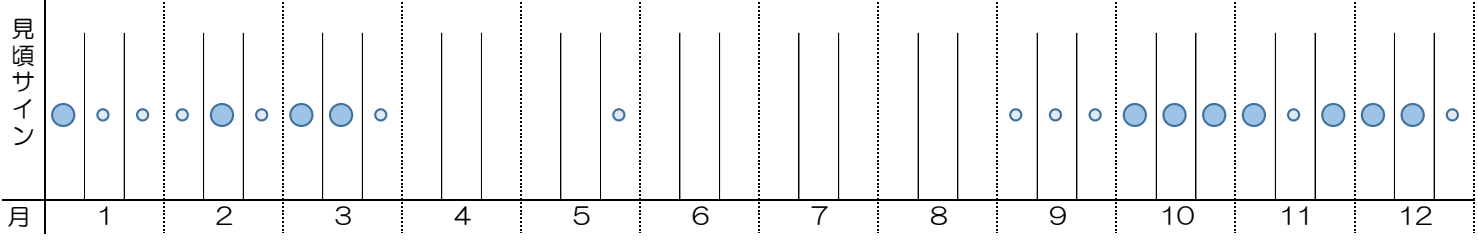

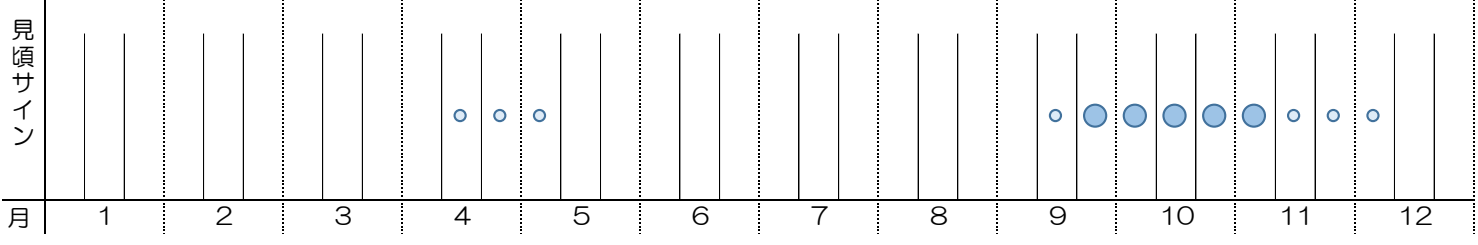
江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

69	スズメ目	カラス科	<p>ミヤマカケス</p> 	<p>(特徴など) 全長35cm程度。体はぶどう褐色で頭部が黄褐色。翼に青と黒、白の模様が入り、腰・下腹部が白色。</p> <p>【観察者コメント】 ・秋に鷗島神社のクロマツ林にマツの実をついばみに来ていた。イヌカネコの鳴きまねをして、鳴いたので驚かされた。</p>	見頃サイン	<p>月</p> 
			<p>ココマルガラス</p> 	<p>(特徴など) 全長35cm程度。小型のカラス類。全身が黒色の暗色型と後頭部から胸、腹が白色の淡色型がある。ミヤマガラスの群れに混じっている。</p> <p>【観察者コメント】 ・飛んでいるミヤマガラスの大きな群れの中に、小さな個体が混じり、胸の辺りがやや灰色でココマルガラスとわかった。</p>	見頃サイン	<p>月</p> 
71	スズメ目	カラス科	<p>ミヤマガラス</p> 	<p>(特徴など) 全長45cm程度。ハシボソガラスより少し小さく、嘴は細く先が尖っている。成鳥は嘴基部が白っぽくなる。</p> <p>【観察者コメント】 ・秋に奥尻島方向から鷗島上空に大群で飛んできた。春には、松の岱辺りにねぐらを構え鷗島の方へ来ては上昇気流を探していた。</p>	見頃サイン	<p>月</p> 
			<p>ハシボソガラス</p> 	<p>(特徴など) 全長50cm程度。全身が黒色で紫や青の光沢がある。額はでっばらず、嘴は細め。</p> <p>【観察者コメント】 ・オオセグロカモメの次に良く見られた。何つがいか鷗島に営巣。おでこの高いハシボソガラスのようなオスの個体もいた。</p>	見頃サイン	<p>月</p> 


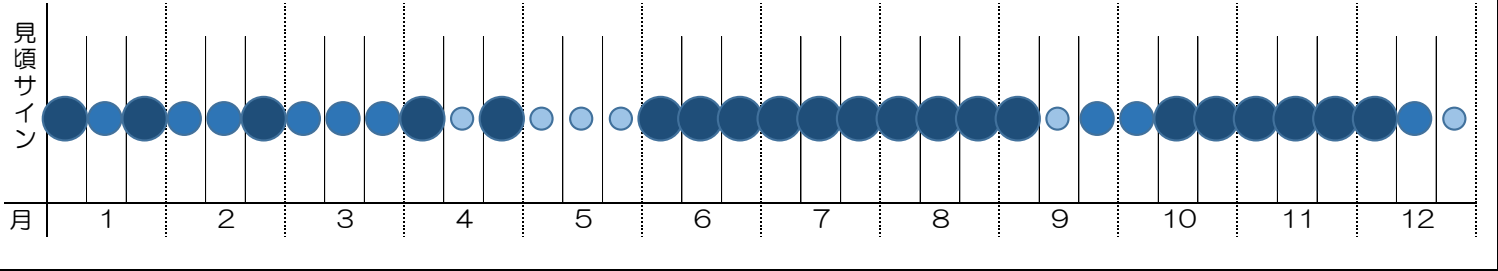

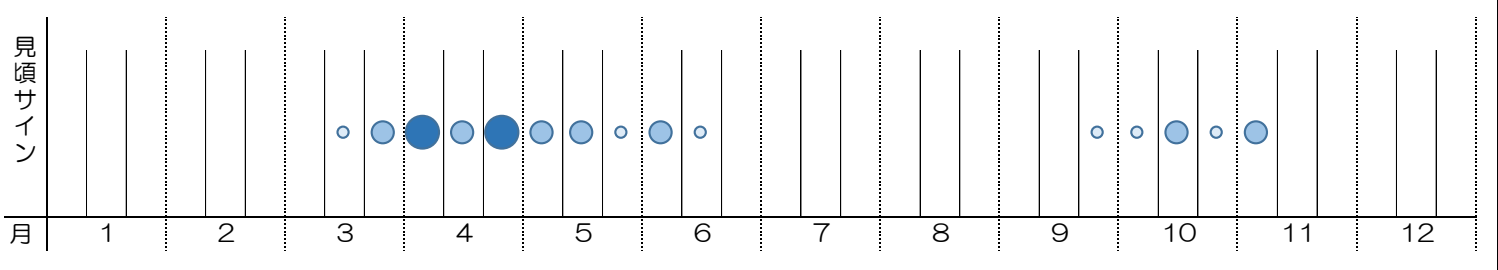

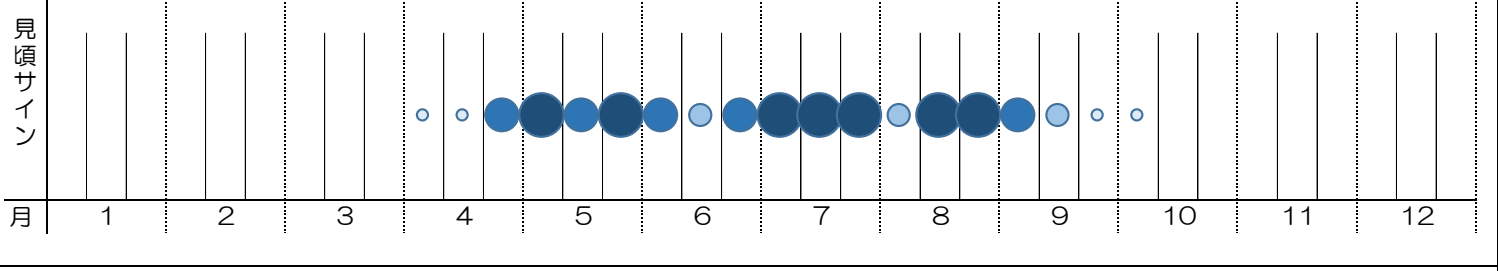

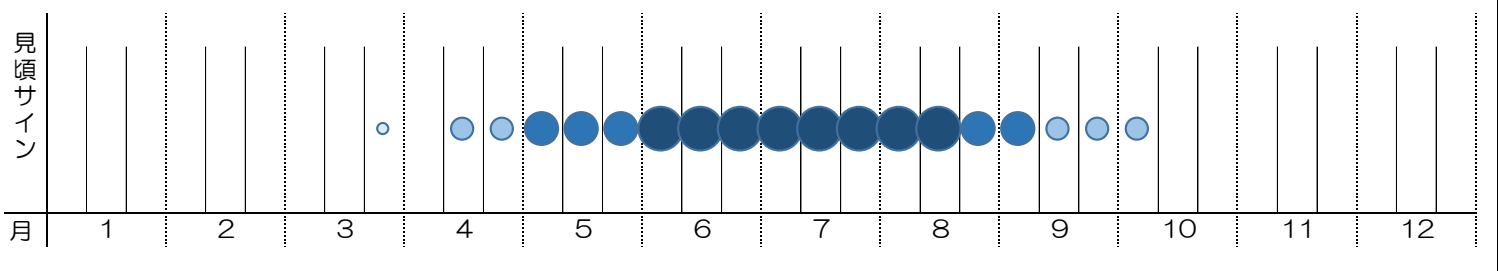
江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

73	スズメ目	カラス科	<p>ハシブトガラス</p> 	<p>(特徴など) 全長55cm程度。ハシボソガラスよりやや大きい。全身黒色で青や緑の光沢がある。嘴は太く湾曲し、額にでっぱりがある。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島では例年4つがい以上が営巣し、毎年卵が生まれると、多くの来島者が襲われていた。棒を肩に担くと襲われにくかった。</p>	<p>見頃サイン</p> 
			<p>月</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		
74	スズメ目	キクイタダキ科	<p>キクイタダキ</p> 	<p>(特徴など) 全長10cm程度。日本で最も小さい鳥。全身オリーブ色で目の周りと翼縁が白色。頭頂部が黄色で雄では中央に橙色が入る。</p> <p>【観察者コメント】 ・秋にカラ類との混成群に数羽が混じりクロマツの上でしきりに餌を探していた。真冬にも時々見られ越冬しているようだった。</p>	<p>見頃サイン</p> 
			<p>月</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		
75	スズメ目	シジュウカラ科	<p>ヤマガラ</p> 	<p>(特徴など) 全長15cm程度。頭部と喉の一部が黒色で額と頬、のどの一部はクリーム色。背と腹は茶褐色で翼と尾は青灰色。</p> <p>【観察者コメント】 ・3年目の冬は特によく見られた。シジュウカラと一緒にいた1個体が要因と思われる、厳島神社の枯れ葉をよく散らしていた。</p>	<p>見頃サイン</p> 
			<p>月</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		
76	スズメ目	シジュウカラ科	<p>ヒガラ</p> 	<p>(特徴など) 全長10cm程度。頭上と喉が黒色で短い冠羽がある。後頭部と頬が白色。背は青灰色で翼に2本の白線が入る。</p> <p>【観察者コメント】 ・人を怖がらず、群れで芝生で、餌をついばんでいた。とても小さいので、チッチと鳴いていても一瞬姿がわからないことも。</p>	<p>見頃サイン</p> 
			<p>月</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		

江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

77	スズメ目	シジュウカラ科	<p>シジュウカラ</p>  <p>(特徴など) 全長15cm程度。体の上面は青灰色で背に黄緑色、翼に1本の白線が入る。白い頬と喉から腹のネクタイのような黒い縦線が特徴的。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島の厳島神社のほか数カ所で繁殖。厳島神社裏の巣はイタヤカエデの胸くらいの高さの枝の折れたあとに穴があった。</p>	<p>見頃サイン</p>  <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
			<p>ヒバリ</p>  <p>(特徴など) 全長15cm程度。体は黄褐色で上面と胸に黒い縦斑がある。時に短い冠羽を立てる。</p> <p>【観察者コメント】 ・春と秋に必ず訪れピュルッと一声鳴いて天高く飛び去った。春にはさえずることもあったが、カラスが多いせいか営巣はせず。</p>	<p>見頃サイン</p>  <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
79	スズメ目	ツバメ科	<p>ツバメ</p>  <p>(特徴など) 全長15cm程度。体は上面が光沢のある黒色で下面は白色。額と喉は赤褐色で喉と腹の堺に黒帯がある。尾は深い燕尾。</p> <p>【観察者コメント】 ・イワツバメに遠慮がちにやや海に近いところで、巣を作っていた。よくハクセキレイと追いかっこをしている。</p>	<p>見頃サイン</p>  <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
			<p>イワツバメ</p>  <p>(特徴など) 全長15cm程度。ツバメより小型で尾の切れ込みが浅い。上面はほぼ光沢のある黒色で腹は白色。下面は全て白色である。</p> <p>【観察者コメント】 ・早ければ3月下旬には江差に渡ってくる。消防署の付近が好きらしく1000羽近くが集まる。鷗島には時々餌を探りに来ていた。</p>	<p>見頃サイン</p>  <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>

江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

No.	スズメ目	科	種名	特徴・観察コメント	見頃サイン
81	スズメ目	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	<p>(特徴など) 全長30cm程度。全身が灰褐色で頬は茶褐色。嘴の先がすどく尖り、尾は長めである。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島には、時々やってきて、寒椿の蜜を吸ったりしていたが、ハヤブサによく追いつられていた。</p>	<p>見頃サイン</p>
82	スズメ目	ウグイス科	ウグイス	<p>(特徴など) 全長15cm程度。全身が茶褐色で淡色の眉斑を持つ。下面はやや淡い。尾が比較的長め。さえずりは有名なホーホケキョ。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島では一度だけ、さえずりを聞いた。藪から時々顔を出し、チャッチャッと地鳴きをするがなかなか姿を現さない。</p>	<p>見頃サイン</p>
83	スズメ目	ウグイス科	ヤブサメ	<p>(特徴など) 全長10cm程度。ウグイスよりも小さく尾も短い。全身が茶褐色で白色の眉斑を持つ。下面は淡い。</p> <p>【観察者コメント】 ・姿が特に小さく尾が短い。全体がハフ色で、ムシクイ類ではなく、薄い眉斑でわかった。カモメ島の南側の松林の下の藪にいた。</p>	<p>見頃サイン</p>
84	スズメ目	ムシクイ科	メボソムシクイ	<p>(特徴など) 全長15cm程度。体の上面はオリーブ色で白い明瞭な眉斑が特徴的。下面は淡い黄緑色。ジュリジュリとさえずる。</p> <p>【観察者コメント】 ・薄いうぐいす色だったのでセンダイムシクイと思ったが、頭頂線がなくメボソムシクイと判明。なかなか特徴を捉えるのが困難。</p>	<p>見頃サイン</p>

江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

年	目	科	種名	特徴など	観察者コメント	見頃サイン										
85	スズメ目	ムシクイ科	エゾムシクイ	(特徴など) 全長10cm程度。体の上面は褐色味の強いオリーブ色で白い肩斑がある。下面は汚白色。ヒツツキーとさえずる。	【観察者コメント】 ・春はイタヤカエデの林でヒツキーヒツキーと鳴いていた。秋は鷗島南側のクロマツ林の下の藪中をちよろちよろしていた。	見頃サイン										
			月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
			● (5月), ● (8月), ● (9月)													
			○ (5月), ○ (8月), ○ (9月)													
86	スズメ目	ムシクイ科	センダイムシクイ	(特徴など) 全長15cm程度。体の上面は緑色味の強いオリーブ色で白色の肩斑と淡色の頭黒線がある。下面は汚白色。チヨチヨビー等とさえずる。	【観察者コメント】 ・春は鷗島のイタヤカエデの林からチヨチヨビーと鳴いていた。秋にはよくイタヤカエデの枝の間で数羽で餌を探していた。	見頃サイン										
			月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
			● (4月), ● (5月), ● (6月), ● (8月), ● (9月), ● (10月)													
			● (4月), ● (5月), ● (6月), ● (8月), ● (9月), ● (10月)													
87	スズメ目	メジロ科	メジロ	(特徴など) 全長10cm程度。スズメよりも小さな小鳥。上面はオリーブ色で目の周囲の白色が目立つ。喉は黄色で下面の他の部分は汚白色。	【観察者コメント】 ・春は、民宿建物の裏にあるヤブツバキの花に蜜を吸いに来て、よくチョーチューとさえずっていた。	見頃サイン										
			月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
			● (4月), ● (5月), ● (5月), ● (10月)													
			○ (4月), ○ (5月), ○ (5月), ○ (10月)													
88	スズメ目	センニユウ科	シマセンニュウ	(特徴など) 全長15cm程度。体はオリーブ味のある茶褐色で下面は淡く、淡色の肩斑を持つ。尾は円尾で不明瞭な横斑がある。	【観察者コメント】 ・鷗島岩場斜面のヨシ原からさえずりが聞こえ、見分けは難しいが、鳴き声セットで確認。同じ個体なのか数日連続で見られた。	見頃サイン										
			月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
			● (5月), ● (6月)													
			○ (5月), ○ (6月)													


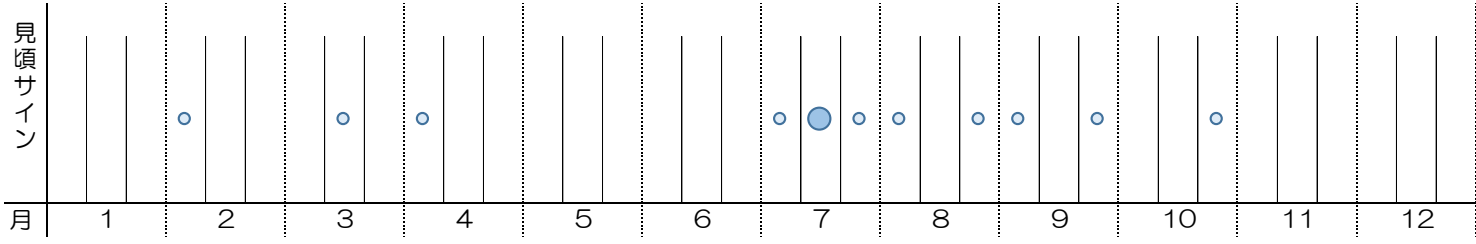

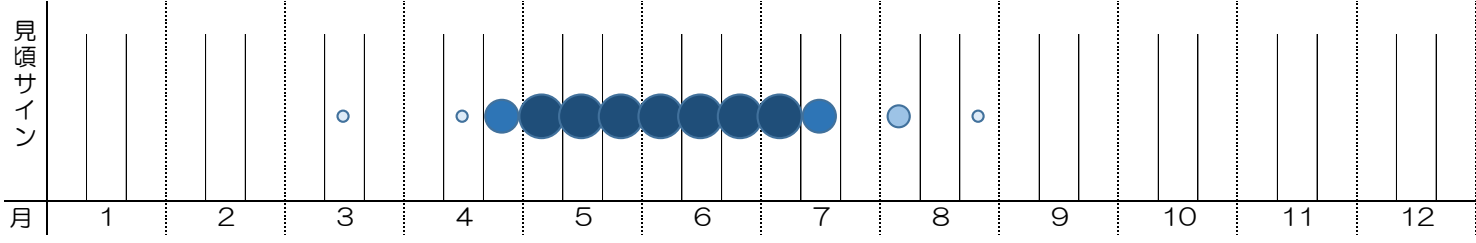

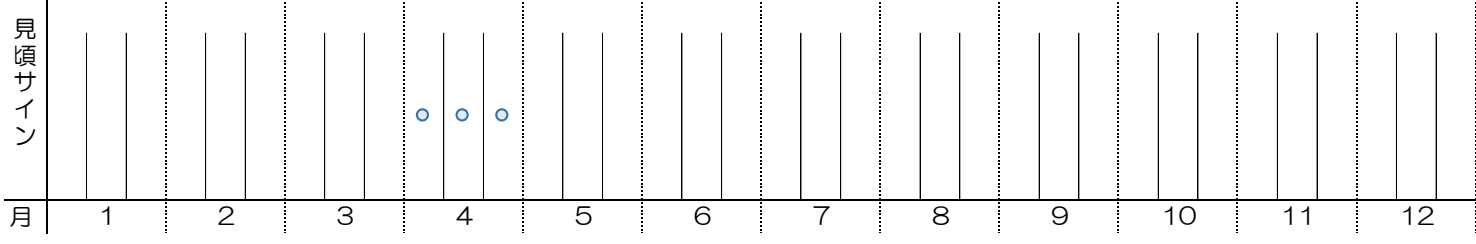
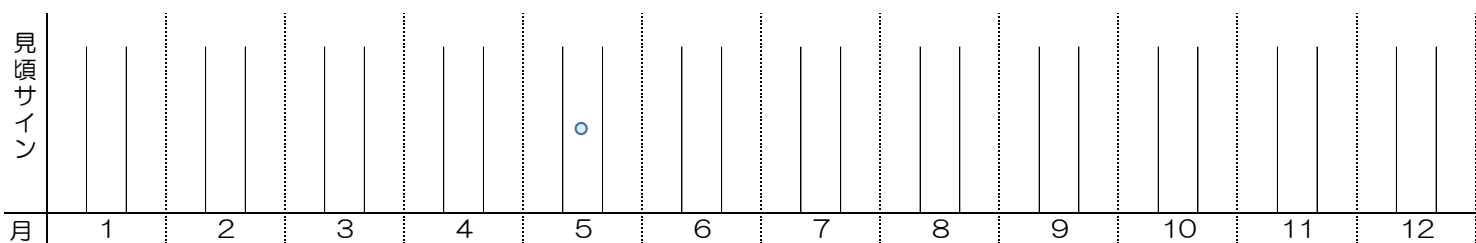
江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

89	スズメ目	センニュウ科	エソセンニュウ	<p>(特徴など) 全長20cm程度。体の上面は濃褐色で下面は灰褐色。白い眉斑が特徴的。トビシンカケタカとさえずり、ややホトトギスに似る。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島神社の北側で枯れ葉の上をガサガサと歩く姿が見られ、大きな変な動きをする、でかいウグイスのようだった。</p>	見頃サイン	
90	スズメ目	ヨシキリ科	オオヨシキリ	<p>(特徴など) 全長20cm程度。体は全体が黄褐色で下面は汚白色。淡色の眉斑がある。胸に不明瞭な淡い縦斑を持つ個体ある。</p> <p>【観察者コメント】 ・シマセンニュウのすぐ横で、あの独特のギョギョシギョギョシと突然大声で鳴き始めた。それ一度きりしか見られなかった。</p>	見頃サイン	
91	スズメ目	ヨシキリ科	コヨシキリ	<p>(特徴など) 全長15cm程度。オオヨシキリより一回り小さい。体の上面はオリーブ味のある褐色で下面は淡い。白い眉斑とその上の黒線が特徴的。</p> <p>【観察者コメント】 ・春は渡りの時期に鷗島の両側のヨシ原でさえずっていた。秋は、北側のヨシに静かに止まっている姿が見られた。</p>	見頃サイン	
92	スズメ目	ミソサザイ科	ミソサザイ	<p>(特徴など) 全長10cm程度。日本で最も小さな鳥の1つ。全身褐色で黒色の横斑が入り、淡色の不明瞭な眉斑がある。短い尾をいつも立てている。</p> <p>【観察者コメント】 ・山奥に住むイメージが強いが、冬に鷗島神社の木立で尾羽をピンと立て、茶色の小さな体をせせせと動かし餌を探していた。</p>	見頃サイン	

江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

93	スズメ目	ムクドリ科	<p>ムクドリ</p>  <p>(特徴など) 全長25cm程度。全体に灰褐色で頭部は黒味が強く頭に白い羽毛が不規則にある。腰は白く嘴と足は橙色。</p> <p>【観察者コメント】 ・時々思い出したように1羽で来ることがあった。大群で群れる習性があり、はぐれ迷い、寂しそうにしていることが多かった。</p>	見頃サイン	
			<p>コムクドリ</p>  <p>(特徴など) 全長20cm程度。嘴・足が黒色。雄は頭部が白く頬が赤茶色。翼に白斑があり腰は淡橙色。雌は頭部から下面が灰白色。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島では、民宿跡の煙突や木の枝の腐った穴に巣を作っていた。ハヤブサの雛の餌になることが多く、島に羽がよく落ちていた。</p>	見頃サイン	
95	スズメ目	ヒタキ科	<p>クロツグミ</p>  <p>(特徴など) 全長20cm程度。雄は上面・胸が黒、嘴・目の周りが黄。腹は白色で黒三角斑がある。雌は上面茶褐色で下面は白く黄橙味を帯び黒斑がある。</p> <p>【観察者コメント】 ・春の渡りの時期に松林や厳島神社の木陰に隠れながら移動する姿を見かけた。こそそしていて、なかなか見つけづらい。</p>	見頃サイン	
			<p>マミチャジナイ</p> <p>(写真)</p> <p>(特徴など) 全長20cm程度。アカハラによく似るが白い眉斑と喉が白色。雄の頭部は灰褐色。雌は頭部の灰色味が少なく喉に黒い縦斑が入る。</p> <p>【観察者コメント】 ・ただ一度だけ春の渡りの時期に、厳島神社の林の中で見かけた。眉ラインの白が目立ち、アカハラとは見間違えることはなかった。</p>	見頃サイン	


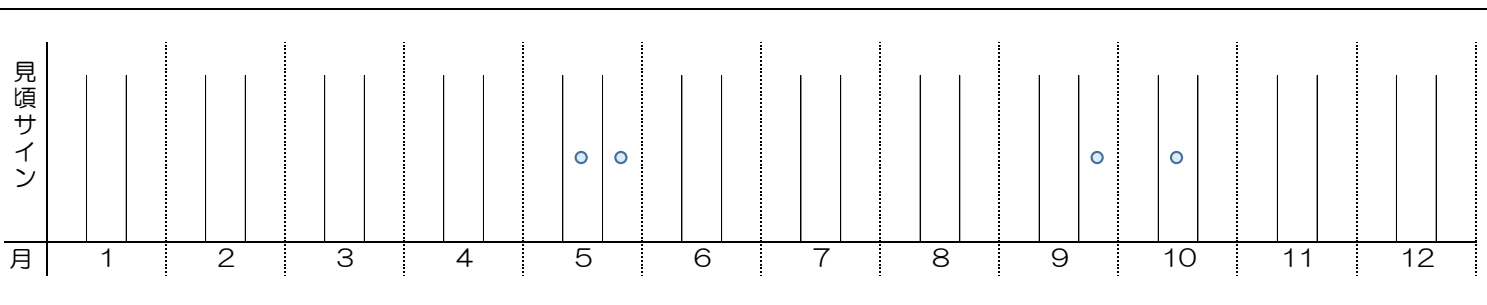

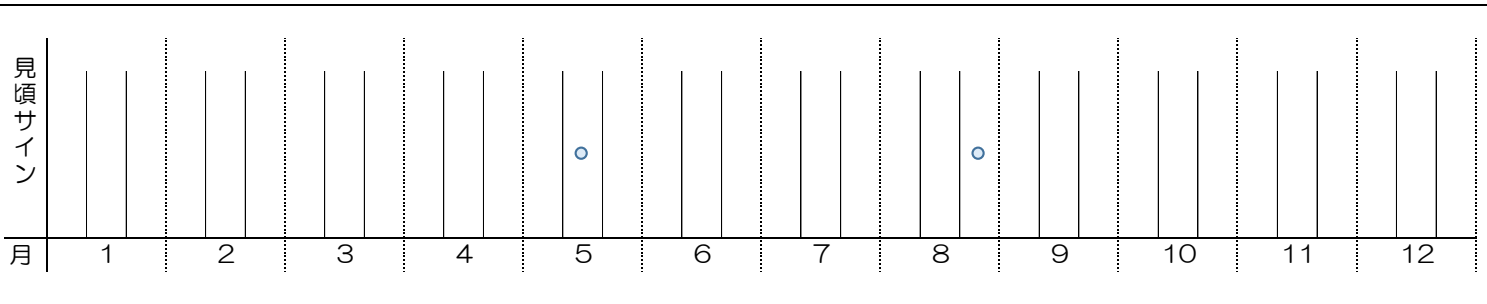

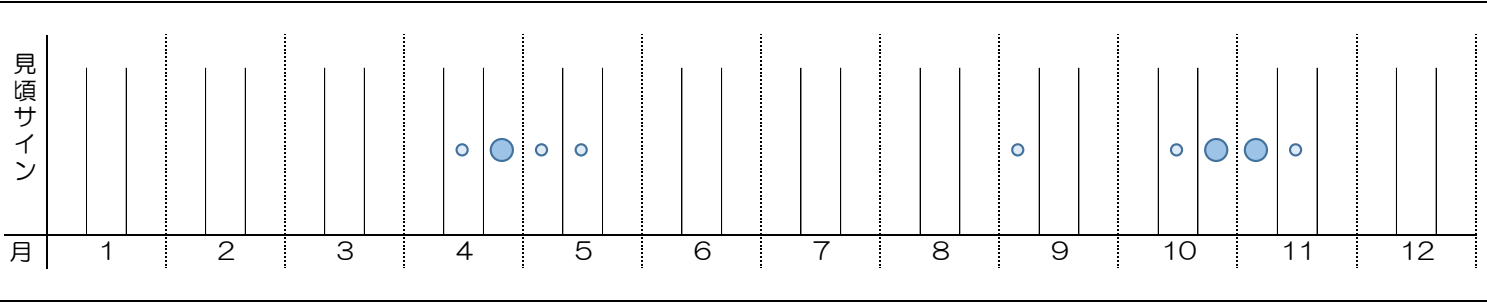

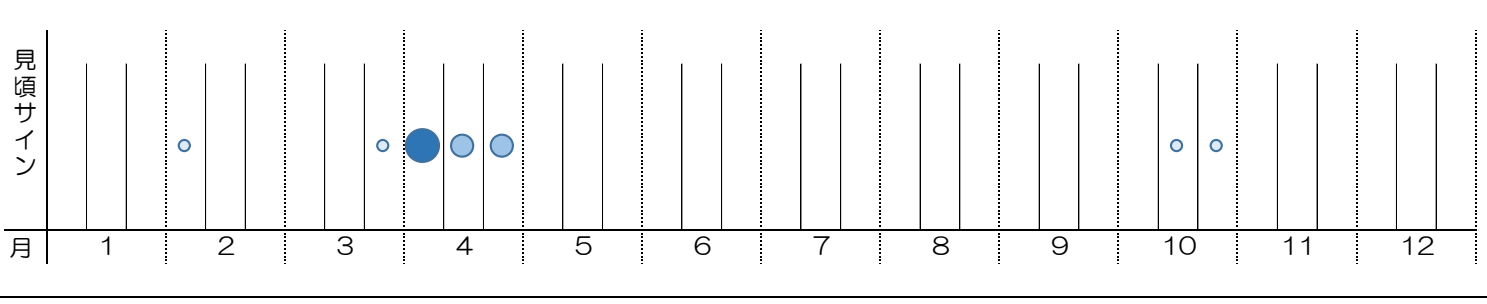
江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

97	スズメ目	ヒタキ科	シロハラ	<p>(特徴など) 全長25cm程度。上面は茶褐色で下面は淡褐色。尾羽の先に白斑がある。雄は頭部に黒味があり、雌は喉・頬に白線がある。</p> <p>【観察者コメント】 ・大型ツグミ類の中でイソヒヨドリ、ツグミの次によく見られる。鷗島神社の木立で枯れ葉を散らしながら餌をよく探している。</p>	見頃サイン	
				月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	
98	スズメ目	ヒタキ科	アカハラ	<p>(特徴など) 全長25cm程度。体の上面はオリーブ褐色で胸と腹は橙赤色で腹の中央は白い。雄は頭部に黒味が強く、雌は喉に白い縦斑がる。</p> <p>【観察者コメント】 ・朝早く薄暗い時間から、キョロンキョロンとさえずる。地面に降りて枯れ葉を散らしながら、鷗島神社で餌を探していた。</p>	見頃サイン	
				月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	
99	スズメ目	ヒタキ科	ツグミ	<p>(特徴など) 全長25cm程度。頭部から背は灰黒褐色で喉と眉斑がクリーム色。下面は白く黒斑がある。翼は褐色で栗色が入る。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島の芝生の上を駆け回っている姿をよく見かけるが、用心深くすぐに藪に隠れる。春はハヤブサによく追われる姿を見かける。</p>	見頃サイン	
				月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	
100	スズメ目	ヒタキ科	コマドリ	<p>(特徴など) 全長15cm程度。雄は頭から上面が暗赤褐色。顔から上胸、尾は赤褐色。下胸から腹は白く上胸・下胸の間は黒色。雌は全体に淡い色彩。</p> <p>【観察者コメント】 ・7月に乙部岳に登山に行ったとき、コマドリが鳴いていた。鷗島神社の木立でその姿を見たのは、大学生時代以来だった。</p>	見頃サイン	
				月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	

江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

101	スズメ目	ヒタキ科	<p>ノゴマ</p> 	<p>(特徴など) 全長15cm程度。全体に褐色で下面は淡色。白い肩斑と頸線が目立つ。雄の喉は鮮やかに赤く、雌の喉は白色。</p>	見頃サイン	
			<p>【観察者コメント】 ・春にゆっくりしたさえずりを聞いたもののその姿が見えず、ようやく灯台横のハマナスの藪の中に胸元の赤い紋章を探し当てた。</p>			
102	スズメ目	ヒタキ科	<p>コルリ</p> 	<p>(特徴など) 全長15cm程度。雄は上面が暗青色で下面は白色。目先と上面・下面の境が黒色。雌は上面と脇がオリーブ褐色で下面は淡いオリーブ色。</p>	見頃サイン	
			<p>【観察者コメント】 ・春にヒヒヒチリリリリ声の海を見ながら聞き、夏の終わりは鷗島神社の本立で一瞬だけ青い背中を見せ姿を消すはずかしがり屋。</p>			
103	スズメ目	ヒタキ科	<p>ルリビタキ</p> 	<p>(特徴など) 全長15cm程度。雄は体の上面がるり色で目先、喉は白色。脇は橙色。雌は上面オリーブ褐色で下面は白色。尾と脇は雄と同色。</p>	見頃サイン	
			<p>【観察者コメント】 ・高山帯でよく見られ冬場は本州に渡る。春と秋に鷗島に立ち寄る青い小鳥の多くはこのルリビタキでメスも腰から尾にかけて青い。</p>			
104	スズメ目	ヒタキ科	<p>ジョウビタキ</p> 	<p>(特徴など) 全長15cm程度。雄は頭が灰白色で頬・喉が黒色。下面は橙色。雌は全体に淡褐色で下腹から尾は橙色。雌雄とも翼に白斑が目立つ。</p>	見頃サイン	
			<p>【観察者コメント】 ・本州では冬に見られる野鳥で、秋と春に鷗島に立ち寄ることが多い。オスは、灰白色、黒、白、朱色とカラフルで、かっこいい。</p>			


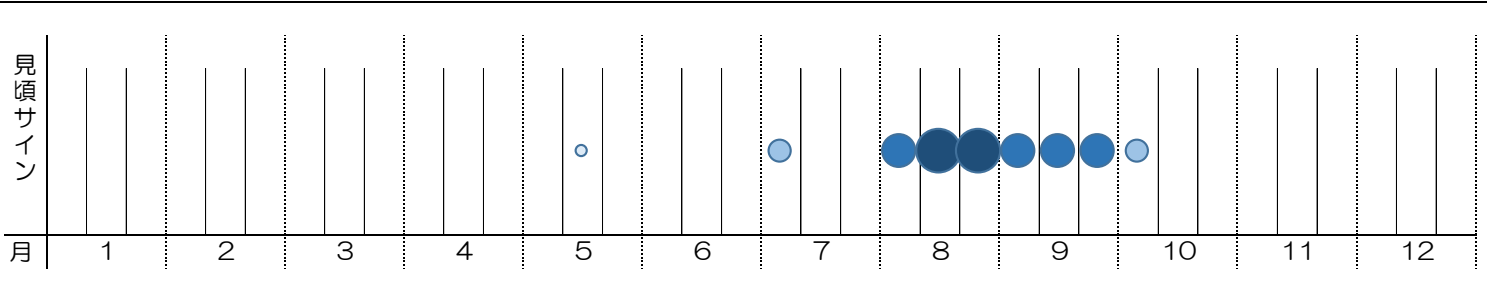

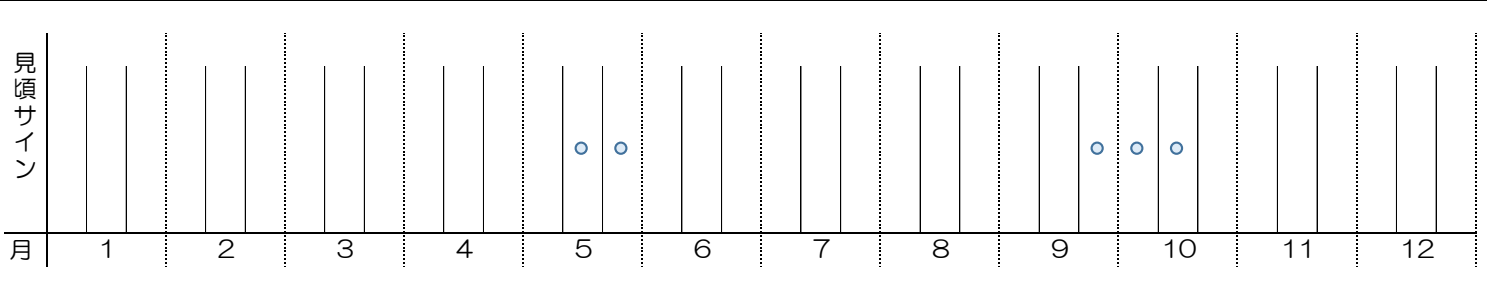

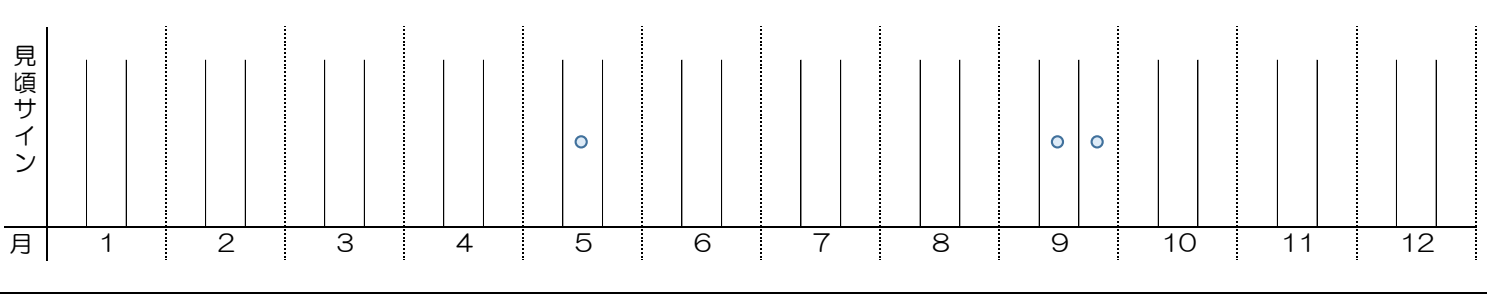

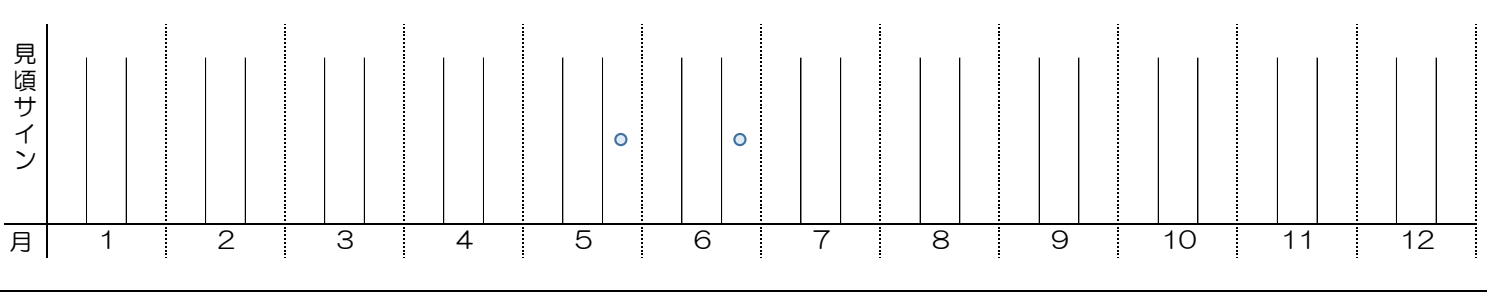
江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 75%以上 75%未満50%以上 50%未満25%以上 25%未満で出現あり

105	スズメ目	ヒタキ科	ノビタキ	<p>(特徴など) 全長15cm程度。夏の雄では上面が黒色で肩と下面は白色。胸は橙色。冬は雌に似る。雌は上面が黄褐色で黒斑があり下面は淡橙色。</p> <p>【観察者コメント】 ・秋に多く見られるが春には白黒のきれいなオスの夏羽も見られる。道内の湿地や草原に多いので、鷗島にもよく寄ってくる。</p>	見頃サイン	
106	スズメ目	ヒタキ科	イソヒヨドリ	<p>(特徴など) 全長25cm程度。雄は頭、胸、背、腰が暗青色で腹は赤褐色。雌は上面が黒褐色で下面は褐色味が強く暗黄色の斑がある。</p> <p>【観察者コメント】 ・ほぼ年中鷗島で見ることができ繁殖もしている。オスはとてもきれいな声でさえずり姿も美しい。海岸の岩場にいることが多い。</p>	見頃サイン	
107	スズメ目	ヒタキ科	エソビタキ	<p>(特徴など) 全長15cm程度。サメビタキによく似るが、下面に黒い縦斑が入る。また、大雨覆先端と三列風切外縁は白色。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島のイタヤカエデから、クロマツに移ったところを写真に捉えた。オオルリのメスかと思ったが、胸の模様から確認できた。</p>	見頃サイン	
108	スズメ目	ヒタキ科	サメビタキ	<p>(特徴など) 全長15cm程度。上面が灰褐色。下面は白色で胸と脇は褐色。大雨覆先端と三列風切外縁は淡褐色。</p> <p>【観察者コメント】 ・コサメビタキとは動きが違い、少し大きめに思え、写真を撮ったところ、胸のコントラストから、サメビタキとわかった。</p>	見頃サイン	

江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

109	スズメ目	ヒタキ科	<p>コサメビタキ</p> 	<p>(特徴など) 全長15cm程度。上面は灰褐色で下面は白色に不明瞭な縦斑がある。サメビタキ属の中で最も下面が白色に見える。</p> <p>【観察者コメント】 ・ヒタキ類の中では一番見られる頻度が高かった。特にクロマツの林をよく利用し、厳島神社の周りでは数羽がよく飛び交っていた。</p>	見頃サイン	
110	スズメ目	ヒタキ科	<p>キビタキ</p> 	<p>(特徴など) 全長15cm程度。雄は上面が黒色で肩斑、腰、下面が黄色。喉は橙味が入り翼に白斑がある。雌は全体にオリーブ褐色で下面は淡色。</p> <p>【観察者コメント】 ・春は鷗島のイタヤカエデでピヨホイピヨホイと美しい声で鳴いていた。秋には南側のクロマツと電線をメスが行き来していた。</p>	見頃サイン	
111	スズメ目	ヒタキ科	<p>オオルリ</p> 	<p>(特徴など) 全長15cm程度。雄の上面は青紫色で顔、喉、胸、脇は黒色。腹と尾の付け根は白色。雌は全体が茶褐色で尾の赤味が強く喉・腹は白い。</p> <p>【観察者コメント】 ・春には、鷗島のイタヤカエデの林で、美しい声で鳴いていた。秋には、厳島神社前の電線に若鳥のオスが止まっていた。</p>	見頃サイン	
112	スズメ目	スズメ科	<p>ニューナイスズメ</p> 	<p>(特徴など) 全長15cm程度。雄では頭上と背が赤栗色で背に黒い縦斑がある。翼は黒褐色。雌は所面オリーブ褐色で淡色の肩斑がある。</p> <p>【観察者コメント】 ・春の渡りに鷗島のど真ん中の芝生上の電線に、きれいなオスが止まっていた。鳴き声がスズメに似ているが、やや甲高い。</p>	見頃サイン	


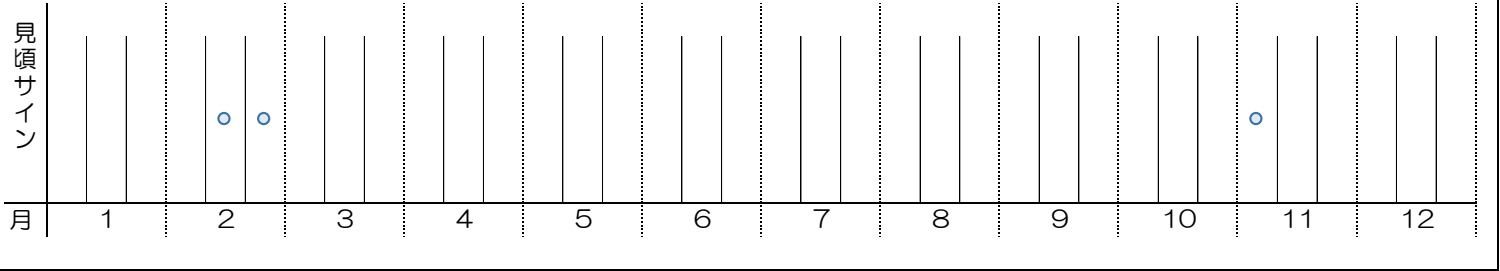

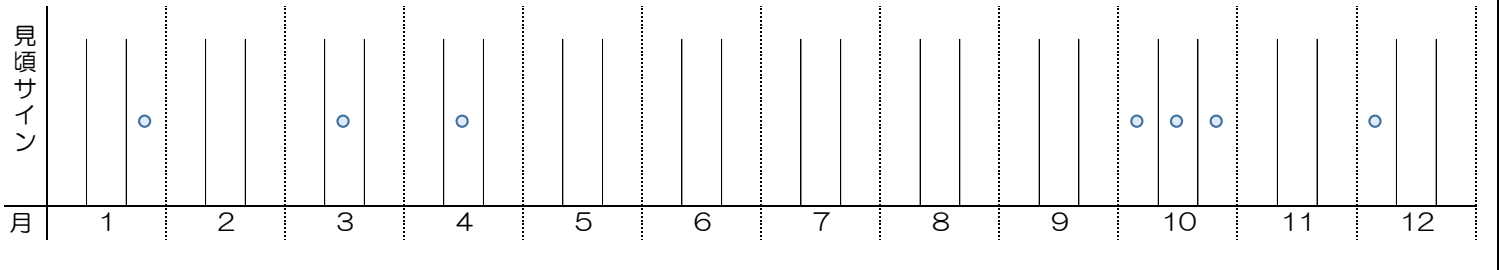

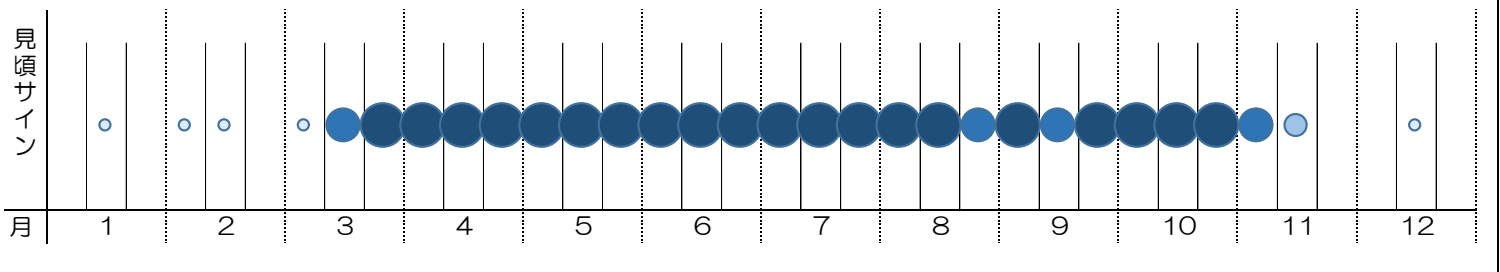

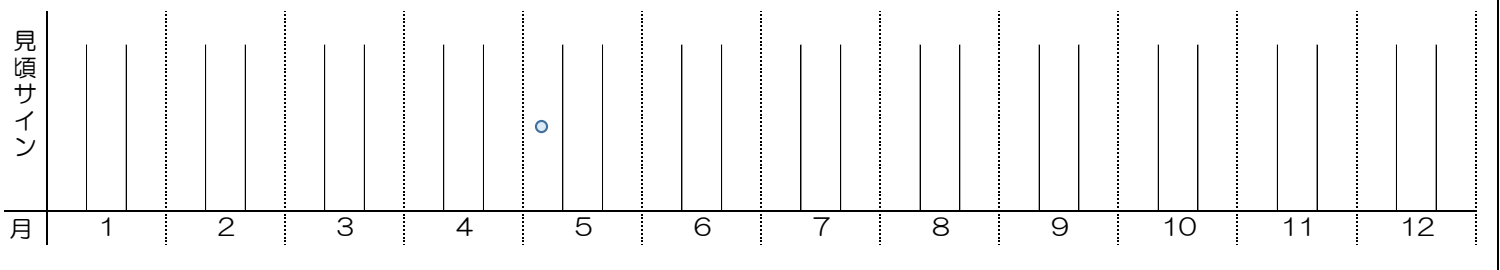
江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

113	スズメ目	スズメ科	スズメ	<p>(特徴など) 全長15cm程度。最も人間に身近な野鳥。頭上はあずき色。背は褐色で黒い縦斑がある。白い頬に黒斑が特徴的。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島にある唯一の民家の屋根裏とトイレの軒下に巣を作っていた。真冬の風の強い日には、屋根裏から出ないこともあった。</p>	見頃サイン	
				<p>月</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		
114	スズメ目	セキレイ科	キセキレイ	<p>(特徴など) 全長20cm程度。頭、背、翼は青灰色。胸、腹、腰は黄色。雄は夏、喉が黒く冬は白色。雌の喉は白色から黒色まである。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島に立ち寄ることはなく、上空を通過するところしか確認できなかった。もしかしたらツメナガセキレイの可能性もある。</p>	見頃サイン	
				<p>月</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		
115	スズメ目	セキレイ科	ハクセキレイ	<p>(特徴など) 全長20cm程度。雄は夏、頭から背が黒色。顔・下面が白色で黒い過眼線と胸に黒斑がある。冬は背が灰色となる。雌は灰色味が強い。</p> <p>【観察者コメント】 ・ほぼ一年中見ることができ。ただ、同じ個体が居続けるのではなく、冬の個体はおそらく北から渡ってきたものと思われる。</p>	見頃サイン	
				<p>月</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		
116	スズメ目	セキレイ科	ピンズイ	<p>(特徴など) 全長15cm程度。頭から上面はオリーブ色。下面は淡色で胸に黒い縦斑が入る。白い眉斑と目の後方に白斑がある。</p> <p>【観察者コメント】 ・春と秋にハクセキレイと一緒に芝の上で採餌しているのが見られ、時々電線に止まりしきりに尾羽を振っていた。</p>	見頃サイン	
				<p>月</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		


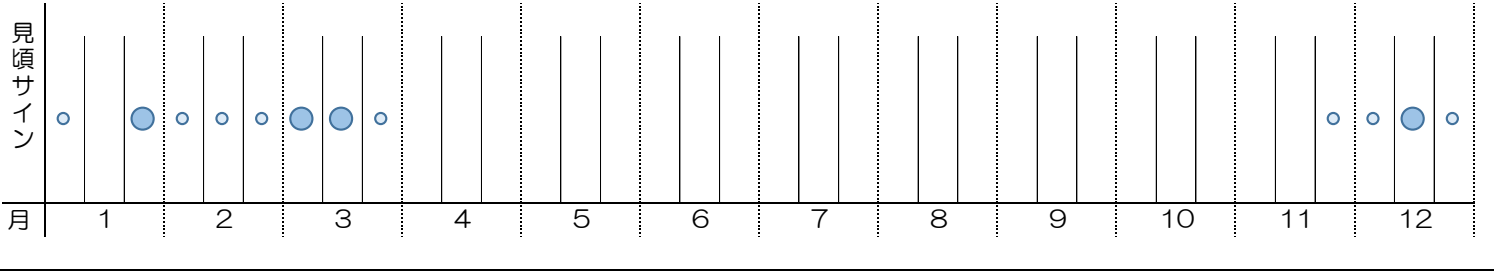

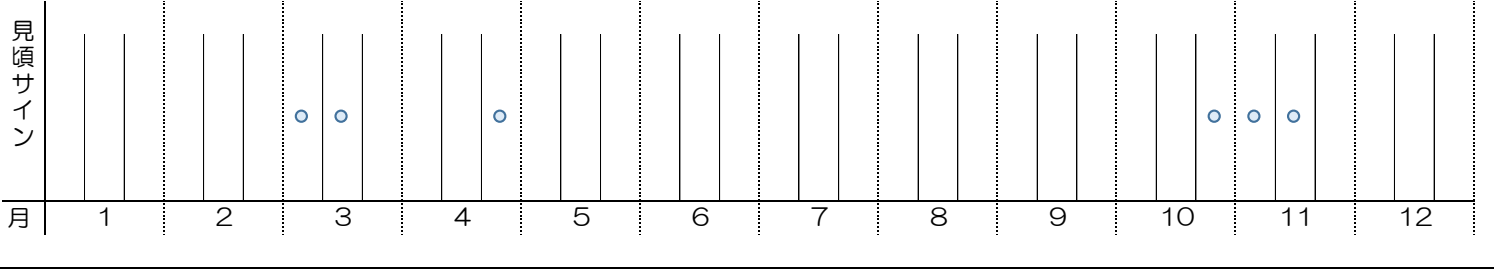

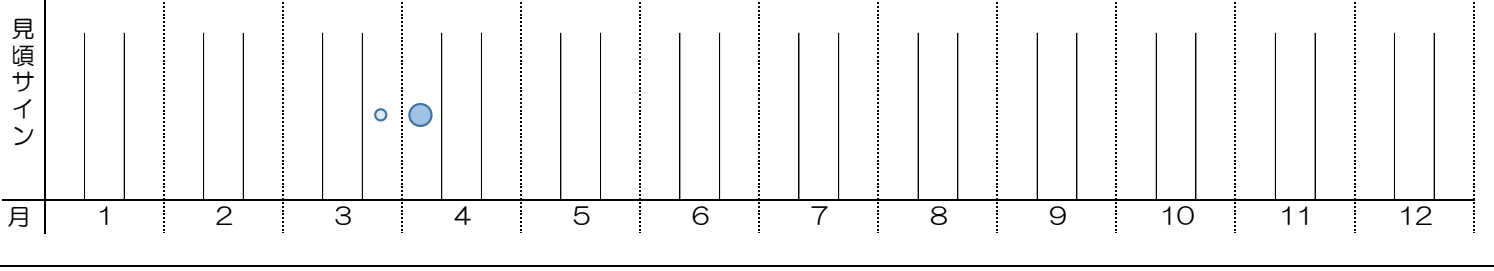

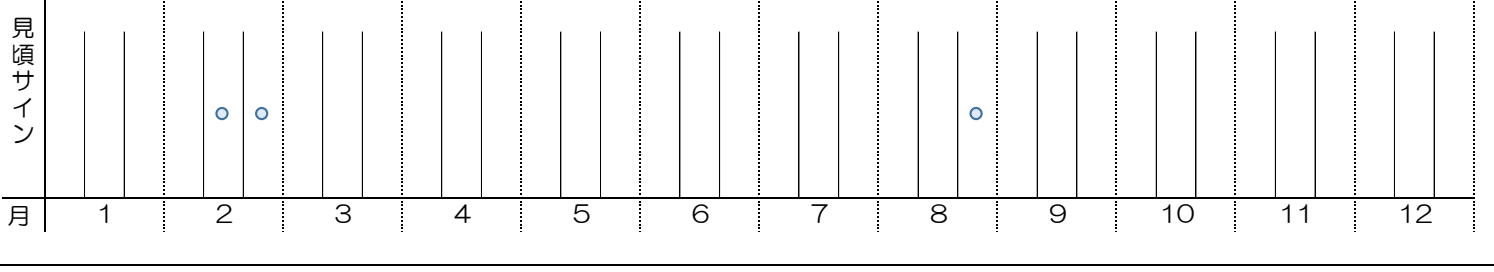
江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

117	スズメ目	セキレイ科	<p>タヒバリ</p> 	<p>(特徴など) 全長15cm程度。夏は頭から体の上面が灰褐色。下面は淡橙色で黒い縦斑がある。冬は上面がオリーブ褐色で下面は汚白色。</p> <p>【観察者コメント】 ・北海道で見るのは初めてで鷗島の岩場で採餌しているを見つけた。高校時代毎日聞いていた懐かしい声で、印象深い日となった。</p>	<p>見頃サイン</p> 
			<p>月</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		
118	スズメ目	アトリ科	<p>アトリ</p> 	<p>(特徴など) 全長15cm程度。雄は夏、頭頸、背が黒色で喉、胸、脇、雨覆が橙色。腰・腹は白色。雌は頭部の灰色味が強い。雄の冬羽は雌に似る。</p> <p>【観察者コメント】 ・群れを作る野鳥だが見たのはいずれも単独で、寂しかったのか、スズメの群れの中で芝生の餌をついばんでいることもあった。</p>	<p>見頃サイン</p> 
			<p>月</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		
119	スズメ目	アトリ科	<p>カワラヒワ</p> 	<p>(特徴など) 全長15cm程度。体はオリーブ褐色で嘴は肌色。風切の基部が鮮やかに黄色い。雄は頭部の緑味が強い。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島で繁殖している。芝生の横の藪の中に巣があったよう。真冬にもいたが、単独個体が多く、単なる渡り損ないかもしれない。</p>	<p>見頃サイン</p> 
			<p>月</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		
120	スズメ目	アトリ科	<p>マヒワ</p> 	<p>(特徴など) 全長10cm程度。雄は頭頂が黒く、背は灰緑色。顔から腹、腰が黄色で翼にも黄線がある。雌は頭頂が灰緑色で全体に黄味が薄い。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島神社の裏のイタヤカエデの枝先を単独でついばんでいた。群れることが多いので、はぐれた個体がまたまいたのかも。</p>	<p>見頃サイン</p> 
			<p>月</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>		





江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

121	スズメ目	アトリ科	<p>ハギマシコ</p>  <p>(特徴など) 全長15cm程度。雄は前頭、顔、喉が黒く、後頭部は黄褐色。胸、腹、翼の一部に黒色とバラ色が混じる。雌は全体に色彩が薄い。</p> <p>【観察者コメント】 ・最初の年は素早く飛んでいて、種類の判別つかないことがあった。3年目の冬は、特徴をつかみよく写真を撮ることができた。</p>	見頃サイン	 <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
122	スズメ目	アトリ科	<p>ベニマシコ</p>  <p>(特徴など) 全長15cm程度。雄は夏、全体に紅色で頭上、顔、喉は銀白色。翼は黒く2本の白帯がある。冬は上面の赤味が薄い。雌は全体に淡褐色。</p> <p>【観察者コメント】 ・ピンク色のオスの姿を見ることはなかったが、特徴のあるピ・ピ・ビボの声は、よく聞こえた。嘴が丸っこくかわいい。</p>	見頃サイン	 <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
123	スズメ目	アトリ科	<p>イスカ</p>  <p>(特徴など) 全長20cm程度。頭と嘴が大きく、嘴は上下に食い違っている。雄の体は朱赤色で翼と尾は黒褐色。雌は雄の赤色部が黄緑色。</p> <p>【観察者コメント】 ・厳島神社近くのクロマツで松ぼっくりをムシムシとむしり、中の種をほじりだしていた。赤のオスと緑のメスが群れ美しかった。</p>	見頃サイン	 <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>
124	スズメ目	アトリ科	<p>シメ</p>  <p>(特徴など) 全長20cm程度。全体に褐色だが、目先と喉は黒、えりは灰色、翼は青黒色で2本の白帯がある。嘴は夏は鉛色で冬は肌色。雌は色が鈍い。</p> <p>【観察者コメント】 ・少し大きめのすんぐりした体で、木の枝で休んでいることが多かった。体に似合わず高い声なので、一瞬あれっと思ってしまふ。</p>	見頃サイン	 <p>月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12</p>




江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

125	スズメ目	ホオジロ科	<p>ホオジロ</p>  <p>(特徴など) 全長15cm程度。雄は全体に茶褐色で腰は赤味が強い。顔は白黒の斑があり腹の中央が白色。雌は顔の黒色部が褐色で全体に色が鈍い。</p> <p>【観察者コメント】 ・鷗島の低木の藪の中で数つがい繁殖していた。春一番のさえずりは元気な鳴き声のホオジロから始まるというウソではない。</p>	見頃サイン	
			月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	
126	スズメ目	ホオジロ科	<p>ホオアカ</p>  <p>(特徴など) 全長15cm程度。頭上から背が灰色で頬の赤褐色が特徴的。下面は白色で胸に黒と赤褐色の帯がある。雌は全体に色が薄い。</p> <p>【観察者コメント】 ・春の渡りの時期に枯れたエゾニユウのてっぺんでさえずりのまねをしていた。目立ちたがり屋であり隠れることはなかった。</p>	見頃サイン	
			月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	
127	スズメ目	ホオジロ科	<p>カシラダカ</p>  <p>(特徴など) 全長15cm程度。頭上と頬は褐色で灰色の頭中央線と冠羽がある。下面は白色で胸に褐色の帯がある。雄は夏、頭上と頬が黒色となる。</p> <p>【観察者コメント】 ・春と秋の渡りの時期に鷗島の芝の上で、餌をついばんでいた。ミヤマホオジロの群れに混じっていた。</p>	見頃サイン	
			月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	
128	スズメ目	ホオジロ科	<p>ミヤマホオジロ</p>  <p>(特徴など) 全長15cm程度。冠羽が目立つ。雄は頭上と頬が黒く眉斑と喉が黄色。下面は汚白色で胸に黒三角斑がある。雌は眉斑と喉・胸が黄褐色。</p> <p>【観察者コメント】 ・春の渡り時にオスの黄色の飾り羽根と胸の黒い三角模様がきりっと美しい。群れていることが多く、案外近づいても逃げない。</p>	見頃サイン	
			月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	

江差・鷗島の野鳥種別出現状況

出現率 ● 75%以上 ● 75%未満50%以上 ● 50%未満25%以上 ○ 25%未満で出現あり

129	スズメ目	ホオジロ科	アオジ	<p>(特徴など) 全長15cm程度。雄は頭部が灰緑色で目先は黒味が強い。下面は黄緑色で灰黒の縦斑がある。雌は色が淡く、黄緑色の眉斑がある。</p>	見頃サイン	
				<p>【観察者コメント】 ・春に長期間さえずり繁殖するのかもしれないが、夏にはほとんど見られなくなった。胸の黄色は個体で濃さが相当違っていた。</p>		
130	スズメ目	ホオジロ科	クロジ	<p>(特徴など) 全長15cm程度。雄は全体が暗灰青色。雌は全体に褐色味があり頭中央線と眉斑は淡褐色、下面は淡茶褐色で黒い縦斑がある。</p>	見頃サイン	
			<p>(写真)</p> 	<p>【観察者コメント】 ・鷗島のクロマツの下の歩道上で、アオジに混じって餌をついばんでいた。大きさはアオジと同じだが色が黒いので区別しやすい。</p>		
131	スズメ目	ホオジロ科	オオジュリン	<p>(特徴など) 全長15cm程度。上面は灰褐色で雨覆は赤褐色。黒い頸線と背に黒い縦斑が入る。雄は夏、頭部が黒く白い頸線が入り背は赤褐色となる。</p>	見頃サイン	
				<p>【観察者コメント】 ・秋の渡り時に鷗島神社近くのススキに止まっていた。目立つ模様ではないが、何となくシュツとしていて格好よい。</p>		